

平成27年度

与謝野町教育の事業点検・評価

報告書

平成29年1月

与謝野町教育委員会

与謝野町宮津市中学校組合教育委員会

## 1 事務事業点検と評価の概要

### (1) 目的

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」第26条の規定により、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に報告し公表しなければならないとされています。

この報告書は、同法の既定に基づき、平成27年度与謝野町教育委員会が執行した事務の取組状況と成果をまとめ、自己点検による評価と学識経験者による外部評価をいただいて整理したものです。

この点検と評価を今後の教育委員会活動や教育施策に反映させることで、与謝野町における教育施策が、住民の皆様方のご理解の下に、より適切・円滑に推進できますよう、事業の見直しや取組の強化を図ることとしています。

### (2) 点検と評価の方法

教育委員会では、第1次与謝野町総合計画で示したベンチマーク（指標）を基本に、各事務・事業を「評価シート」による4段階評価により自己点検・評価を行うとともに、課長による組織評価を行っています。さらに、学識経験者等による「事業評価会議」を開催し、外部評価をいただいています。

#### ◆評価値

4	目標は達成されている
3	目標の達成が間近である
2	目標の達成が遅れている
1	目標の達成が不十分である

#### ◆評価委員

○学識経験者 福知山公立大学 北近畿地域連携センター  
江上 直樹 助教

○一般委員 2名

#### ◆評価委員会開催状況

平成28年10月31日 第1回事務事業評価委員会

平成28年11月21日 第2回事務事業評価委員会

平成28年12月20日 第3回事務事業評価委員会

## 2 教育委員会開催状況

- (1) 開催回数 ○定例会議 12回  
○臨時会議 3回

(2) 審議状況

開催日	区分	審議・協議事項
平成 27 年 4 月 23 日	定例	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 27 年度社会教育の重点について</li><li>・与謝野町立三河内郷土資料室運営委員の委嘱について</li></ul>
5 月 20 日	定例	<ul style="list-style-type: none"><li>・与謝野町就学指導委員会規則の一部改正について</li><li>・就学援助審査について</li><li>・教育委員会会議録について</li></ul>
6 月 24 日	定例	<ul style="list-style-type: none"><li>・与謝野町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱の一部改正について</li><li>・与謝野町教育委員会委員長の選任について</li><li>・与謝野町教育委員会委員長職務代理の指定について</li></ul>
7 月 23 日	定例	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 26 年度与謝野町の教育の点検と評価について</li><li>・京都府学力診断テスト結果報告</li></ul>
8 月 28 日	定例	<ul style="list-style-type: none"><li>・平成 28 年度与謝野町使用中学校用教科用図書採択について</li><li>・平成 26 年度一般会計歳入歳出決算について</li><li>・第 1 回いじめ調査の結果報告</li></ul>
9 月 29 日	定例	<ul style="list-style-type: none"><li>・与謝野町立図書館協議会委員の委嘱について</li><li>・平成 27 年度学校訪問の実施について</li><li>・学校生活満足度調査の結果報告</li><li>・全国学力学習状況調査の結果報告</li><li>・いじめ調査に係る取組み状況報告</li></ul>
10 月 21 日	定例	教育委員会 <ul style="list-style-type: none"><li>・与謝野町内に在住する児童が入学する学校を指定する規則の一部改正について</li></ul>
11 月 26 日	定例	<ul style="list-style-type: none"><li>・与謝野町立小中学校閉校記念誌作成事業補助金交付要綱について</li><li>・機構改革に伴う規則等の改正予定について</li></ul>

12月24日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与謝野町教育委員会事務局設置規則の制定について</li> <li>・与謝野町教育委員会の権限に属する事務の補助執行に関する規則の制定について</li> <li>・与謝野町教育委員会事務局組織規則等の一部改正について</li> </ul>
平成28年 1月25日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度与謝野町の教育について</li> <li>・第2回いじめ調査の結果について</li> <li>・平成27年度与謝野町Q-U調査のまとめについて</li> <li>・平成27年度京都府学力診断テストの結果について</li> </ul>
2月12日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度与謝野町の教育について（継続審議）</li> </ul>
2月19日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度与謝野町の教育について（承認可決）</li> <li>・与謝野町文化財保護委員の委嘱について</li> <li>・学校等の適正規模適正配置に関する基本方針の見直しについて</li> </ul>
2月29日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度与謝野町立小・中学校の管理教職員の人事異動の内申について</li> <li>・学校等の適正規模適正配置に関する基本方針の見直しについて（継続協議）</li> </ul>
3月10日	臨時	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年度与謝野町立小・中学校の一般教職員の人事異動の内申について</li> </ul>
3月30日	定例	<ul style="list-style-type: none"> <li>・与謝野町立学校施設の利用に関する規則の一部改正について</li> <li>・与謝野町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則の一部改正について</li> <li>・与謝野町スポーツ推進委員の委嘱について</li> <li>・学校等の適正規模適正配置に関する基本方針の見直しについて（協議終了）</li> <li>・加悦中学校改築工事の進捗状況（報告）</li> <li>・平成28年度当初予算の概要説明</li> <li>・第3回いじめ調査の結果について（報告）</li> </ul>

### (3) その他の活動

- 学校訪問（H27.10.6～11.30） 14日間（2 幼、9 小学、3 中学）
- 教育委員研修会 2回（京都府連合会、丹後連合会など）
- 町総合教育会議 4回（町教育大綱策定）
- その他（各種学校行事の参観、教科書採択地区協議会など）

## 3 事業の総括

与謝野町教育委員会では、これまで「与謝野町教育の重点」並びに「与謝野町社会教育の重点」を掲げ、京都府教育委員会との連携のもとで地域の文化や資源を取り入れた与謝野町ならではの特色ある教育行政を推進してきました。

こうした中、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正が行われ平成27年4月より施行されました。この改正では、教育委員長と教育長を一本化した「新教育長」の設置や「総合教育会議」の新設など4つの大改正が行われました。特に、「教育大綱」を首長が策定することが示され、地方公共団体としての教育行政に関する方向性が明確化されました。

本町におきましても総合教育会議を開催し、町長と教育委員の合議の中で、「与謝野町教育大綱」を11月20日に策定しました。

教育委員会といたしましても、この教育大綱を尊重し基本目標の具現化を目指すとともに、町民・保護者への周知を図り、開かれた教育行政を推進する観点から、「与謝野町の教育」をリーフレット版で作成し平成28年度より実施することとしました。（H27年度作成）さらに、平成27年4月から教育委員会会議録を町ホームページで情報公開するなど、教育委員会活動の見える化に努めています。

一方、かねてからの懸案でありました教育委員会事務局の機構改革について、平成28年1月1日から「学校教育課」と「社会教育課」に再編し、業務分掌の整理を行いました。また、同時に町長部局においては、新たに「子育て応援課」が設置され、幼稚園を含めた就学前教育や保育を所管し、子育て支援の一本化を図ることとなりました。

平成27年度の特徴的な事業としましては、学校教育の面では、子ども達への心理テストである学校満足度調査の取り組みを一層進めていくため、町内の全ての小中学校での年間2回の調査を実施することとしました。これにより、1回目での調査結果をもとに2学期での取り組みを進め、その成果を2回目調査で検証することとしました。また、前年度に発足した「活用推進委員会」をさらに充実発展するため、委員相互の研修や全教職員を対象とした研修会を開催するとともに、学校間での取り組みの共有化に努めるなど、全職員への理解と活用を進めました。

また、平成23年9月にまとめた「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針」の見直しに着手し、教育委員会としての見解をまとめて改訂版を作成するため、教

育委員会での協議を進めています。

一方、ハード面では、引き続き「加悦中学校改築工事」を進め、第1期工事である屋内運動場が8月に完成し、第2期工事として校舎棟の建設工事に入っています。

さらには、岩滝保育園と岩滝幼稚園を統合し、岩滝認定こども園として再編を行うこととし、実施設計に着手し、平成28年度での新築を目指しています。

橋立中学校においては、かねてより懸案でありましたグラウンド西側の防砂フェンス工事を実施し、近隣への砂塵対策を行いました。

次に、社会教育の面では、国民文化祭の後継事業として開催しています第4回蕪村顕彰俳句大会を実施し、加えて、町内全小中高等学校で展開しております俳句教室も、さらなる充実を図り、本町の特色ある教育の柱として、「俳句」のより一層の推進を行っております。

加悦伝統的建造物の保存対策事業については、本年度も8世帯11件の家屋について保存修理を実施しており、多額の補助金を支出しています。

一方、まちづくりは人づくりという観点から、より広い視野を持った人材の育成を目的として、新たな教育プログラムであるリベラルアーツ推進事業を実施しました。この事業は、一般社会人を対象に大学レベルの講座を学べる機会の創出を図ることとして多岐に渡る講師を招き、誰もが受講できる講演と希望者によるワークショップ形式での意見交換会を行いました。本年度は、制度設計の途上でもあり、次年度以降に向けてさらなる発展を目指していくこととしています。

# 与謝野町の教育委員会事務事業評価に関して（平成 27 年度分）

江上 直樹（福知山公立大学助教）

## 1. 総評

本年度の与謝野町の教育委員会事務事業については、「おおむね良好」と評することができる。

特に、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正による新たな教育委員会制度への対応にともない、「与謝野町教育大綱」を策定し、町としての教育理念及び基本目標を明確化したことは、今後の教育政策の基盤となる重要な事項といえる。また、教育委員会の取組について町民への周知を図るため、リーフレット「与謝野町の教育」を作成するとともに、町ホームページにおいても教育委員会会議録を掲載するなど、情報公開について積極的に取り組んでいる点も評価できる。

学校教育においては、学級満足度調査（Q-U 心理検査）を町内の全小中学校について年 2 回実施し、その結果を教員研修で共有することで、学校運営の改善につなげていることは、与謝野町の教育政策の特色を示す先進的な取り組みであるといえる。また、社会教育においては、多様な市民講座を開講し町民に学ぶ機会を豊富に提供していることに加え、リベラルアーツ推進事業については、次年度からは町全体で実施する「ヨサノ町民大学事業」の中に位置付けるなど、部局を超えた事業として発展している。さらに、機構改革についても、教育委員会事務局を「学校教育課」と「社会教育課」に再編し業務分掌の整理を行うとともに、町長部局においても「子育て応援課」が設置され、子育て支援の一本化を実現した。

教育委員会事務事業全体として大きく以上のような点が評価できる一方で、以下の点については更なる改善の余地があるといえる。

- ・「与謝野町教育大綱」について教育理念と基本目標は明確化したものの、教育大綱に基づき各事業がどのように位置づいているのかが見えづらい。教育大綱の理念と目標を実現するにあたってのより具体的なロードマップ等の策定が望まれる。
- ・積極的に情報公開に取り組んではいるものの、学級満足度調査（Q-U 心理検査）等の先進的な取り組みが、教育改善にどのように活用されているのか一般的な町民からは見えづらい。各取り組みが「どのように活かされているのか」をより見えやすくなるような広報のあり方を検討する必要がある。
- ・社会教育における市民講座関係の取組について、事業ごとに報告がまとめられているため、町全体として、いつ、どこで、どのようなものが実施されているのか読み取りづらい。事業別の報告に加えて、全体の取組を一つのカレンダー上にまとめるなど、報告上の工夫が必要である。

## 2. 昨年度の指摘事項についての取組状況について

### （昨年度の指摘事項①）

「与謝野町の教育をどのように進行するのかといった中長期的なビジョンをにらんだロードマップが欲しい。そこには、教育理念や与謝野町の教育が今後向かうべき方向性が明示されている

ことが望ましい。その際に、いつまでに、何をするのか、といった段階的なスキーム設定が求められる」

⇒本指摘における教育理念や方向性の明示という点においては、総評にて記述した通り「与謝野町教育大綱」の策定により実現した。「いつまでに、何をするのか、といった段階的なスキーム設定」という点については、これからも検討が必要となる事項である。

(昨年度の指摘事項②)

「根拠となるデータや資料が増えているが、まだ専門的知識を有する層にしか理解できない部分が多い。HP 等をもとにそれらを町民に効果するという視点から、図表化などのビジュアル面を重視した内容が求められる」

⇒総評にて記述した通り、本指摘事項への対応の一つとしてリーフレット「与謝野町の教育」の作成を行っている。もちろん、分かりやすい情報発信のあり方については引き続き検討していく必要がある。

### 3. 個別事業について

#### ・学校再編について

現在、与謝野町では「与謝野町子ども・子育て会議」の答申をもとに、「学校等の適正規模適正配置に関する基本方針」の見直しに着手し、教育委員会としての協議を進めている。一般に学校再編は財政的な都合が重視されがちであるが、本件における協議では、学校の「教育的な観点」や「地域コミュニティの格としての性格の配慮」を強く意識している。また、この基本方針を見直すことになったきっかけの一つとして、住民からの通学区域に関する要望があったことから考えても、住民のニーズにもとづいた協議が実施されていることが推察される。こうした協議の方向性については評価できるとともに、今後具体的な取り組みを進めるにあたって「財政的な観点」「教育的な観点」「地域コミュニティ的な観点」等、多面的な視野から検討をしていくことが肝要である。

#### ・教員住宅管理費について

教員住宅については、新任教員やALTの住居への対応等を考えると、その必要性は認められるが、事業評価シート上からはそういった点が読み取れない。事業の必要性についての説明の工夫が必要である。また、「委託化は不可能」とされているが、長期的な視点から、民間の住宅利用等で代替可能かについても検討する余地がある。

#### ・中学校施設整備事業

中学校の施設整備については、加悦中学校の改築工事による耐震化、橋立中学校における砂塵対策等を実施し、あんしん・安全な教育環境づくりに繋げている。

#### ・幼稚園管理運営事業、幼稚園施設整備事業

総評にも記述した通り、幼稚園を含めた就学前教育や保育を所管する「子育て応援課」が設置され、子育て支援の一本化を図っている。また、行政の事務分掌だけでなく、認定こども園



の建設に向けた準備を進めており、現場レベルにおいても幼保連携型の子育て支援を実施できるように推進している点は評価できる。

- ・社会教育におけるソフト事業について

年間を通じて多種多様な取り組みが実施されている点は評価できるが、取り組みによってはその内容が似通っているものも見受けられ、現状の取り組み全てを行政の事業として実施していく必要があるかという点については疑問が残る。現状の取り組みについて、その内容や日程等を整理し、将来的には趣旨の似通った取り組みの統合等も視野に入れる必要がある。

- ・社会教育における施設の維持管理関連事業について

各施設の意義については十分理解できるものであるが、財政事情等に鑑み、各施設の必要性について、町全体としてより踏み込んで議論していく時期に来ているのではないか。その際には、利用状況による一面的な議論だけではなく、施設が設置された趣旨や、その施設の性格や地域的な事情等を勘案しつつ、場合によっては移転・統合等も視野に入れて検討する必要がある。

平成27年度

# 事務事業評価シート

与謝野町教育委員会

与謝野町宮津市中学校組合教育委員会

## 【目 次】

教育委員会運営事業	1	江山文庫管理運営事業	101
指導主事設置事業	3	旧尾藤家住宅管理運営事業	103
教育相談事業	5	遺跡環境維持事業	105
教員住宅管理費	7	社会教育施設管理運営事業	107
マイクロバス運行事業	9	スポーツ推進委員活動事業	109
奨学資金貸付事業	11	社会体育団体体育成事業	111
高等学校奨学金事業(通学助成)	13	スポーツイベント開催事業	113
適応指導教室事業	15	スポーツクラブ育成事業	115
ALT事業・外国青年誘致事業	17	屋外体育施設管理運営事業	117
小学校施設整備事業	19	屋内体育施設管理運営事業	119
自校給食事業	21	給食センター運営事業	121
小学校要・準要保護児童援助事業	23	給食センター施設整備事業	123
小学校情報教育推進事業	25	放課後児童健全育成事業	125
小学校理科・算数教育設備整備事業	27		
小学校児童遠距離通学支援事業	29		
小学校特別支援教育就学奨励費	31		
小学校教育振興費一般経費	33		
中学校施設整備事業	35		
中学校組合負担金	37		
中学校要・準要保護生徒援助事業	39		
中学校情報教育推進事業	41		
中学校理科・算数教育設備整備事業	43		
中学校生徒遠距離通学支援事業	45		
中学校特別支援教育就学奨励費	47		
中学校教育振興費一般経費	49		
幼稚園管理運営事業	51		
幼稚園施設整備事業	53		
幼稚園就園奨励費	55		
京のまなび教育推進事業	57		
家庭教育事業	59		
成人式開催事業	61		
生涯学習支援事業	63		
青少年育成事業	65		
リベラルアーツ推進事業	67		
放課後学習支援事業	69		
公民館管理運営事業	71		
公民館活動事業	73		
地区公民館整備事業	75		
地区公民館管理運営事業	77		
知遊館管理運営事業	79		
文化財保護委員会運営事業	81		
文化財保護・活用事業	83		
指定文化財等補助事業	85		
伝統的建造物群保存対策事業	87		
遺跡分布調査事業	89		
図書館管理運営事業	91		
農村文化保存伝習センター管理運営事業	93		
三河内郷土資料室管理運営事業	95		
古墳公園管理運営事業	97		
椿文化資料館管理運営事業	99		

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		学校教育課	小池信助	杉本真由美	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
教育委員会運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input checked="" type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
地方教育行政の組織及び運営に関する法律・与謝野町教育委員会事務局組織規則・与謝野町教育委員会に対する事務委任規則		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
教育委員会の開催、教育委員会の点検及び評価、教育委員の研修、各種団体補助		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
開かれた委員会をめざし、傍聴や会議録等の公開について広く広報する。	毎月の委員会開催について、文字放送やホームページ等で広報するとともに、会議録を公開する。	町の広報媒体を使用し、広く広報することができた。平成27年度からは全会議の会議録をホームページに掲載した。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	1	教育委員会費
事業	1・50	教育委員報酬 教育委員会費一般経費

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	3,438	3,555	3,730	
総事業費の内訳	人件費		2,100	2,100	2,100	
	物件費		1,039	196	279	
	扶助費					
	補助費		240	1,259	1,351	
	投資的経費					
	その他	59				
財源内訳		千円				
国・府支出金						
地方債						
その他特定財源						
一般財源			3,438	3,555	3,730	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	
1	教育委員会活動	教育委員会議の開催	回	16	12	15
2	教育委員会活動	総合教育会議への出席	回			4
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
情報公開(開示請求によるもの)	回	2	2	1	委員会議の傍聴についての案内並びに会議録の公開
情報公開(ホームページへの掲載)	回	0	3	4	
委員会議の開催日時等の広報	回	16	12	15	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題				
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある				
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/> いない				
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある				
		他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある				
情報公開	他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある					
	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある					
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある				
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある				
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある				
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input checked="" type="radio"/> 委託化は不可能		
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input checked="" type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>				
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 教育委員会議の形骸化が指摘される中、当委員会は積極的な施策と取り組みを展開している。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 平成27年度から地方教育行政の組織及び運営に関する法律が改正され、教育委員会体制も大きく変わった。総合教育会議の設置や教育大綱の制定など、首長の権限が拡大され、関与が強調されたイメージはあるものの、従来通り執行機関としての役割は変わらず、政治的中立性の確保を図る中で、よりきめ細やかな教育行政の推進に努めていくためにも、重要な活動であると考えている。			
(課題の解決についての提案など) 平成26年度に取り掛かった町ホームページ中の教育委員会関連ページの整理・トップページのバナー作成に引き続き、これまでの検討課題であった会議録のホームページでの公開を開始し、定期的に情報公開ができた。また町教育委員会として学校教育・社会教育の重点施策をまとめたパンフレットを作成し意識の統一を図ることができた。学校等の適正規模適正配置に係る統廃合のについては引き続きどのように進めるか検討が必要である。	自己評価 <span style="float: right;">3</span>			
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		学校教育課	小池信助	中上伸午
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
指導主事等設置事業		<input type="radio"/> 新規	18年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	教育内容の充実	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町教育委員会指導主事設置に関する規則		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
		<input type="radio"/> 義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業		計画などの策定
学力向上、教育課程、生徒指導、特別支援、教職員研修など、学校教育一般に関する指導を行う。 教職員の人事や評価などを行う。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
学校教育・学校経営等に対する適切な指導助言の実施。 教職員に対する適正な評価。	校園長会議(毎月1回)や問題事象等発生時等に、適切な指導助言等を行う。	学校を取り巻く環境の変化に対応した指導助言を教職員に行うことにより、学校から保護者・児童生徒等に対して適切な対応をすることができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	3	指導主事等設置事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	6,240	6,426	6,402	
総事業費の内訳	人件費		6,163	6,318	6,319	
	物件費		77	108	83	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
財源内訳		千円				
国・府支出金						
地方債						
その他特定財源						
一般財源			6,240	6,426	6,402	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1 学校訪問	訪問指導	回	随時	随時	随時
2 学力向上指導	指導助言	回	随時	随時	随時
3 問題事象・不登校等対応	問題事象等の把握、対応指導	回	随時	随時	随時
4 教職員の人事・サービス・研修	指導助言	回	随時	随時	随時
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
指導主事の適正な配置	人	4	4	4	
人事主事の適正な配置	人	1	1	1	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある			
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="radio"/> 2 改善の余地がややある			
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 問題事象等の増加並びに複雑多様化	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 専門的見地からの指導であり、今後とも必要と考える。 常勤職員の設置について検討していきたい。			
(課題の解決についての提案など) 対応等の増加による指導主事の勤務日数等の増				
自己評価				
3				
今後の方向性	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		学校教育課	小池信助	山本泰久	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
教育相談事業		<input type="radio"/> 新規	18年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節)	地域と共に育てる楽しい学校
		(基本計画)	こころの相談体制と不登校児童生徒対策の充実		
個別計画					
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
与謝野町教育委員会教育相談員設置に関する規則		<input type="radio"/>	ソフト事業	施設の維持管理	
			義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容			建設・整備事業	計画などの策定	
いじめや不登校、学習や生活など学校・家庭における問題、悩みについて、教育相談員を置き、児童生徒、保護者等に助言や援助を行う。		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/>	全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/>	委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
児童生徒保護者等に対して、効果的な指導や助言、支援などを行う。	相談しやすい時間設定・場所等を確認。また学校等との連携強化を図った。	児童生徒・保護者等に対して、精神的な配慮・支援を行うことができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	5	教育相談事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	1,082	2,406		
総事業費の内訳	人件費		1,082	2,396		
	物件費			10		
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		1,082	2,406		



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	
1	相談業務	来所・電話等(延相談者数)	人	210	363	363
2						
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
相談員の適正な配置	人	1	2	2	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
連携の可能性	他課で類似の事務事業は		<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
効率性	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
			コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
	(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
事業委託の可能性	既に全部委託済		更なる委託化が可能		委託化の余地あり <input type="radio"/> 委託化は不可能		
	市場化テストの導入について検討する余地がある		市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		1 改善の余地はない		2 改善の余地がややある			
		3 改善の余地が多い		<input type="radio"/> 4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見		今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 年々、相談内容が複雑・多様化し、学校との連携を取り実施する必要がある。		(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 年々増加し複雑化している相談事象に、より丁寧に応えらるとともに、その解消に努めるため、一層の体制づくりが求められている。こうした状況を踏まえ、相談員体制の強化を進めていきたいと考えている。			
(課題の解決についての提案など) 相談体制の充実を図るため、町長部局とも連携を図り、新しい相談体制を構築する。		自己評価 3			
今後の方向性	1 重点的に継続	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	4 縮小を検討
	5 統合・連携を検討	6 休止・廃止を検討		7 終了・完了	

9 その他特記事項

機構改革により教育相談については、平成28年度から「児童・家庭相談室」の中で教育相談のみならず、子供全般に係る相談を受ける体制としたため、子育て応援課が担当課となり、町長部局での予算化となる。

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		学校教育課	小池信助	中上伸午
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
教員住宅管理費		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)
	個別計画	(基本計画)		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町教職員住宅管理規則		ソフト事業		施設の維持管理
		義務的事業	<input type="radio"/>	内部管理事務
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定
住宅使用料の徴収、入退去手続き事務、住宅の補修		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	全部委託	一部委託
		<input type="radio"/>	委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
なし	なし	なし

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	6	教職員住宅管理事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	4,470	4,433	5,333	物件費の増額はH28から外壁修繕を実施の予定
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		162	121	1,016	
	扶助費					
	補助費		4,308	4,312	4,317	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				教職員住宅使用料
	地方債					
	その他特定財源		3,464	2,758	2,877	
	一般財源		1,006	1,675	2,456	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	
1	住宅使用料の徴収	口座振込、現金納付、12月分	件	10	8	8
2	入退去事務手続き		件	7	3	5
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
住宅入居者	戸	10	8	8	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない		
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある			
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある			
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある			
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
事業委託の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 加悦教職員住宅の老朽化 外壁の損傷が激しく早急に修繕が必要である。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 加悦教職員住宅の老朽化が著しく、町全体の公共施設マネジメントの中で、中長期の計画を整理し、活用方法等についても検討していきたい。			
(課題の解決についての提案など) 年次計画での修繕実施 平成28年度から1棟ずつ順に修繕を行う				
	自己評価 3			
今後の方向性	1 重点的に継続 <input type="radio"/>	2 現状のまま継続 <input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続 <input type="checkbox"/>	4 縮小を検討 <input type="checkbox"/>
	5 統合・連携を検討 <input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/>	7 終了・完了 <input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		学校教育課	小池信助	奥野眞敏
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
マイクロバス運行事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)
	個別計画	(基本計画)		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町マイクロバス使用規定		ソフト事業		施設の維持管理
		義務的事業	<input type="radio"/>	内部管理事務
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定
町有マイクロバス2台の管理・運行		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	全部委託	一部委託
		<input type="radio"/>	委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
法令で定められた適切な時期・回数整備・点検を実施し、事故のない安全な運行に努める。	車検を年1回、法定点検を年3回実施、不良箇所は随時修繕を実施している。	適切な時期に整備を実施し、大きな事故もなく運行できている。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	2	事務局費
事業	8	教育委員会マイクロバス運行事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	7,061	7,095	9,302	
総事業費の内訳	人件費		4,267	34	46	
	物件費		2,794	6,994	9,151	
	扶助費					
	補助費			67	105	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		7,061	7,095	9,302	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1	点検・整備	整備業者への委託	回	8	8
2	運行調整	申請書受付、許可・不許可の判断、運転手との連絡調整	回	459	450
3	運行	マイクロバス運転手(臨時職員)の雇用	人	2	2
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
運行回数	回	459	450	473	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は		<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
事業委託 の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="radio"/>	委託化の余地あり
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="radio"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
<p>(施策を取り巻く環境)</p> <p>町有マイクロバスはいずれも購入から13年以上経過し、運行距離も30万kmを超えているものもあり老朽化が著しい。                      なお、平成28年度より今まで町総務課の所管であった1台のバスもあわせ、3台のバスを教育委員会で所管することとなった。</p> <p>(課題の解決についての提案など)</p> <p>老朽化による故障は事故に繋がる恐れがあるため、できるだけ早急に計画的な事業見直しを行い、更新・廃車・外部委託等を検討する必要があると考える。</p>	<p>(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)</p> <p>本年度からは、機構改革に伴って町所有のマイクロバス全車(3台)を運営管理することとなったが、車体の老朽化が深刻な状況となっており、日々の安全点検に努めるなど安全運行をめざしたい。町財政当局とも協議し、適切な事業継続を検討していきたいと考えている。</p>							
	3							
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		学校教育課	小池信助	吉岡美香子	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
奨学資金貸付事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
与謝野町奨学資金貸与条例 与謝野町奨学資金貸与条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理	
			<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
高等専門学校・大学・専修学校生を対象とした奨学資金の貸与		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
旧町時代を含めた懸案対象者に対して償還状況の確認依頼を続け償還に繋げるとともに、滞納額の減少に向け日常的に働きかけを行う。	昨年度行った台帳及び会計資料等の調査・整理を基に懸案対象者へ連絡をとるとともに、滞納・未納へ毎月文書にて督促を行った。	昨年度に引き続き償還再開依頼をすることで償還再開につながった。また、滞納者については、一部現年償還分と合わせて毎月滞納分の償還につなげるなど、全額ではないが大部分の滞納解消につながった。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	3	教育振興費
事業	1	奨学資金貸付事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	5,232	4,287	6,007	投資的経費…基金積立金 その他…貸付金
総事業費の内訳	人件費			9	12	
	物件費		12			
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費		0	498	535	
その他	5,220	3,780	5,460			
財源内訳	国・府支出金	千円				特定財源…基金繰入金
	地方債					
	その他特定財源		0	0	0	
	一般財源		5,232	4,287	6,007	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 奨学生決定(継続者含む)	町広報紙・HP等で募集、新規は奨学資金貸与審査委員会へ諮り決	人	13	13	9
2 貸与	年4回に分けて貸与(5・7・10・1月)	円	5,220,000	5,460,000	3,780,000
3 償還	10年償還	円	5,684,600	5,955,000	5,517,700
4 基金積立	一般会計から基金へ積立	円	0	498	498
5 基金繰入	貸与額の一般会計持出し分を基金から繰入	円	0	0	0

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
旧町滞納者の整理	人	2	2	2	旧町滞納者整理…事務引継時、償還者との連絡が途絶えていたものについて、償還開始に繋がった人数。
新町滞納整理	円	142,800	148,000	79,800	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	H26年度、27年度と償還額が貸与額を上回り、単年度収支では黒字の状態となっているが、償還期間が10年間と長く、社会経済の状況もよくないことから、未納や滞納が続く特定の償還者の未納滞納額が増加し続けている。また、旧町時代からの懸案事項へも引き続きのアプローチが必要。
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/> いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
他の事務事業と統合できる可能性は		<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	手作業で行っている納付管理について、基幹システム等を利用し収納状況の把握や時効管理、納付書発行履歴などをシステム管理を検討する必要がある。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり <input type="radio"/> 委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		1 改善の余地はない			<input checked="" type="radio"/> 2 改善の余地がややある	
		3 改善の余地が多い			<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) H25年度以降、貸与額より償還額が上回っており、単年度黒字を続けている。 27年度は26年度よりも滞納額が増えていることと、また、それが特定の償還者による部分が多い。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 子どもの貧困化が問題視されている中で、本奨学資金の貸付条件は住民であることのみと、非常に借り易いため、今後も制度を存続していきたいと考えている。 一方で、貸付モラルの徹底を図るとともに、償還・滞納対策もしっかりと行っていきたいと考えている。			
(課題の解決についての提案など) 償還に対する条例の一部改正も検討していく必要がある				
	4			
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

--



# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者	
1 事務事業の概要		学校教育課	小池信助	杉本真由美	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
高等学校奨学金事業(通学助成)		新規	年度	26年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
与謝野町に居住する高等学校生徒通学費補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
遠距離通学(片道15km以上)を行う高等学校生徒の保護者に対する通学費の一部助成【年間実費額に対し5%の補助】 ※H25年度末で要綱廃止とし、H26年度は経過措置でH25実績分のみ補助		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	全部委託	一部委託	
		<input type="radio"/>	委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
<ul style="list-style-type: none"> <li>支給要件判定のための所得状況確認において、税務課に依頼している所得証明書の発行など他課の事務負担軽減と事務の迅速化を図る。</li> <li>支給要件該当者の申請漏れを防止するための広報の徹底。</li> <li>該当者、該当校へ制度廃止に係る通知</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹システムによる所得状況照会を行うことで所得証明書の提出を不要とし、事務の迅速化を図った。</li> <li>補助制度廃止の通知を行った。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>システムからの所得状況照会により、他課の負担軽減を図ることができ、事務の迅速化につながった。</li> <li>制度廃止の通知を行うことにより、支給該当の未申請者の申請につながった。</li> </ul>

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	3	教育振興費
事業	2	高等学校奨学金事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	8	—	—	制度廃止の経過措置がH26年度で終了したためH27年度は事業なし。
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		8			
	投資的経費					
	その他					
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		8			



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 申請案内送付	1年生は対象者を中学へ照会。2,3年生は前年度補助金受給者へ送付。	件	-	-	-
2 前期申請受付	申請書、承諾書、領収書	件	2	-	-
3 前期補助金交付	高校へ通学証明依頼、交付決定	件	2	-	-
4 後期・全期申請受付	申請書、承諾書、領収書	件	1	-	-
5 後期・全期補助金交付	高校へ通学証明依頼、交付決定	件	1	-	-

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
補助金受給実人数	人	3	-	-	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="checkbox"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見		今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境)		(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 廃止			
(課題の解決についての提案など)					
		自己評価		3	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討	
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input checked="" type="radio"/> 7 終了・完了		

9 その他特記事項  
 高校授業料無償化の影響か申請件数は近年は減少傾向にあり、公共交通の低料金化に伴う通学費の低額化のため、制度見直しにより平成25年度末をもって要綱廃止とした。  
 ※経過措置として、H25年度利用分に限りH26年度において交付。

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		学校教育課	小池信助	山本泰久
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
適応指導教室事業		<input type="radio"/> 新規	22年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	こころの相談体制と不登校児童生徒対策の充実	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町適応指導教室要綱		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定
指導員を配置し、学校・関係機関と連携を図り不登校の児童生徒が学校復帰できるよう指導支援を行う。		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
関係機関との連携強化 通所者の学校復帰	通所指導 登校支援 家庭訪問指導 学校・保護者との連絡・連携	①学校へ登校する時間や回数が増加した。 ②引きこもり傾向にある生徒が通所できるようになった。 ③学校との連携強化が出来た。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	3	教育振興費
事業	8	適応指導教室事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	6,105	5,876	5,277	
総事業費の内訳	人件費		321	377	407	
	物件費		4,687	4,611	4,834	
	扶助費					
	補助費		1,097	888	36	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	2,246	2,000		みらい戦略一括交付金 2,000
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		3,859	3,876	5,277	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	
1	通所指導	指導員が通所する児童生徒に対し学校復帰に向けて指導支援を行う。	人	4	6	6
2	登校支援	通学時の同行等	人	1	3	3
3	訪問支援	児童生徒宅に訪問し支援を行う	回	70	92	92
4	学校訪問等連携調整	相談部会、ケース会議等に出席	回	101	92	92
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
指導員の適正な配置	人	3	3	3	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="radio"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 支援を必要とする児童生徒は、今後も社会・家庭等を取り巻く情勢・環境の著しい変化により多くなることが予測される中、適応指導教室にも通所できない児童生徒をどう支援していくか検討していく必要がある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 本事業も5年を経過し、不登校児童・生徒の支援策として、大きな成果をあげている。さらに、通所者・保護者への訪問指導や学校等との連携を一層深めるなど、今後とも充実強化を図っていきたいと考える。			
(課題の解決についての提案など) 財政的・支援的にも厳しい家庭の児童性も増えているため、人的・財政的な支援施策を構築する。	自己評価 3			
今後の方向性	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		学校教育課	小池信助	奥野眞敏
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
ALT事業 外国青年招致事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域から世界、世界から地域を考える	
	個別計画	(基本計画)	国際感覚豊かな人づくりの推進	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
招致外国青年任用規則		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定
外国青年を招致(財団法人自治体国際化協会あっせん)し、活用することにより、町内小中学校児童生徒の国際理解教育、外国語活動を推進する。また、地域に派遣することにより住民との国際交流を推進する。		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
外国語教育・国際理解教育の充実	学校訪問・授業 地域での国際交流活動	児童生徒・地域住民と交流することにより、異文化に対する理解・国際交流の推進を図ることができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	1	教育総務費
目	4	外国青年招致費
事業	1	ALT事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	13,382	13,732	12,759	
総事業費の内訳	人件費		12,856	1,691	1,602	
	物件費		310	11,313	10,941	
	扶助費					
	補助費		216	728	216	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				任用人数により 交付税算定有り (一般財源に充当していない)
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		13,382	13,732	12,759	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1	ALTの活用	授業、学校・園行事、地域行事	日	随時	随時
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
予算執行率	%	95.4	100	98.2	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	・JET青年の能力等に差がある。 ・費用が多くかかる。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="radio"/> ある	
効率性	手段・プロセスの効率性	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある
		事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託の可能性		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="radio"/> 委託化の余地あり	<input type="checkbox"/> 委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	
改善の可能性		<input type="radio"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み								
<p>(施策を取り巻く環境)</p> <p>当町はJETプログラムを採用している。全国的にはJET離れも見られ、民間の外国青年派遣業者に委託する市町も増えている。民間導入を検討した経過もあるが、現在の外国青年に不満はないことおよび民間派遣で新たに発生する問題(直接指揮監督できない)を加味した結果、当町では引き続きJETプログラムにより事業実施する。</p> <p>(課題の解決についての提案など)</p> <p>当町では、過去に元ALT1名と個人契約していた。もとJETであり、日本語能力、事務能力も高かった。自治体国際化協会等への負担金、住居斡旋なども不要であり費用を抑えることが可能。ただし、本人の希望と当町の要望が合わず、人選が困難か。</p>	<p>(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)</p> <p>外国語教育については、国際化・グローバル化とともに求められている重点課題であり、国際感覚を養うためにも、より一層の事業推進を図る必要がある。 特に、小学校での外国語授業が教科化される予定であり、ALTに加えて指導員等の人的配置も検討するなど、スムーズな意向に努めていきたいと考える。</p>								
自己評価									
3									
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td><input type="radio"/> 1 重点的に継続</td> <td><input type="radio"/> 2 現状のまま継続</td> <td><input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続</td> <td><input type="checkbox"/> 4 縮小を検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討</td> <td><input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討</td> <td><input type="checkbox"/> 7 終了・完了</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	
<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討						
<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了							

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		学校教育課	小池信助	中上伸午
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
小学校施設整備事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域とともに育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	学校施設・施設の整備	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文部科学省学校施設整備指針 与謝野町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理	
		<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
施設老朽化の改善、機能の向上及び利用者が安全安心に活動できるよう改修事業を行う。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
計画化されたものではなく、単年度で予算計上された施設の整備を行う。	平成27年度からプール修繕については、日常的な管理が多いため、小学校管理運営事業で行う。	

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	1	学校管理費
事業	3	小学校施設整備費

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	30,663	0	11,903	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		2,857		584	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費		27,806		11,319	
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	0		0	
	地方債		26,300		11,300	
	その他特定財源					
	一般財源		4,363	0	603	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 改修要望と実施(プール)	計画修繕と緊急修繕	件	4	0	0
2 改修要望と実施(遊具)	計画修繕と緊急修繕	件	0	0	0
3 改修要望と実施(施設整備)	計画修繕と緊急修繕	件	7	0	0
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
改修要望と実施(プール)	件	2	0	0	老朽化が進み、かつ緊急性の高い施設から順次整備を行う。
改修要望と実施(遊具)	件	0	0	0	
改修要望と実施(施設整備)	件	7	0	0	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/> ある	施設整備の設計・積算・監理業務は町、教育委員会で分けるのではなく、1課に集中して実施の方が効率的である。	
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="checkbox"/>	いる	<input type="radio"/> いない		
	連携の 可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/> ある		
		他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/> ある	1課に集中することにより、設計、積算に係る人件費、システム及び書籍代等のコスト削減を図ることが可能である。	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/> ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input checked="" type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/> ある		
事業委託 の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり <input type="radio"/> 委託化は不可能	
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>		
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見		今後の具体的な取り組み						
(施策を取り巻く環境)		(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)						
全体的に施設が老朽化している。		各校とも老朽化が著しく、特にプールについては多額の運営経費を要していることから、学校再編方針を念頭に計画的な管理に努めていきたい。 また、町全体の公共施設マネジメントを踏まえながら、施設整備計画の策定を進めていきたいと考えている。特に、学校施設のみならず、様々な公共施設の老朽化が課題となる中で、財政計画との調整を基本に協議していかなければならないと考えている。						
(課題の解決についての提案など)		自己評価						
学校再編を考慮し、施設整備計画の策定が必要である。		4						
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3 内容を見直ししながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		学校教育課	小池信助	増田 靖彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
自校給食事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
		(基本計画) 教育内容の充実		
	個別計画	児童生徒に栄養バランスの取れた食事を提供することにより健康の増進、体位の向上を図る		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
学校給食法第2条		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
食育の推進や運動による基礎体力の向上など、児童の健やかな発達へ向けた教育内容の充実を図る。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安心安全な学校給食の提供 きめ細かな給食指導	栄養教諭を中心とした給食指導、個々に対するアレルギー対応食の実施。	事故なく給食の提供ができ、給食指導により残菜はもとより、食習慣も改善され健やかな発達に寄与される。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	1	学校管理費
事業	4	自校給食事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	12,394	9,879	10,017	
総事業費の内訳	人件費			626	676	
	物件費		12,394	9,253	9,341	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		12,394	9,879	10,017	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1 給食設備維持管理事務	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時	随時
2 給食作業員賃金支払事務	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時	随時
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
予算執行率	%	95.51	100	97.47	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない		
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
情報公開	他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	-	ない	-	ある		
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input checked="" type="radio"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある			
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み																
(施策を取り巻く環境) 児童生徒が減少する中、機械器具の点検等を行っているものの計画的な更新が必要である。また衛生的な機械の導入が求められる。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 単独校方式のきめ細かな給食や指導等が出来るのは利点であり、今後も継続していく必要があるものの、町全体の公平性やコストパフォーマンスを視野に入れ給食センターへの統合も検討していく。 また、給食費の収納や支払いにおける私会計扱いについては、早急に改善していく必要があると考える。																
(課題の解決についての提案など) 今後の児童数を考慮し、給食センターへの統合も視野に入れて検討する必要がある。	自己評価 4																
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td><input checked="" type="radio"/></td> <td>1 重点的に継続</td> <td><input type="radio"/></td> <td>2 現状のまま継続</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>3 内容を見直しながら継続</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>4 縮小を検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>5 統合・連携を検討</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>6 休止・廃止を検討</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>7 終了・完了</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	<input checked="" type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		
<input checked="" type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討										
<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了												

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者	
1 事務事業の概要		学校教育課	小池信助	安藤 峻	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
小学校要・準要保護児童援助事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
学校教育法第19条 与謝野町就学援助規則		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定		
経済的理由によつて、就学困難と認められる児童の保護者に対して必要な援助を行う。(給食費、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費等) 【要保護のみ国庫補助対象】		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="checkbox"/>	/	
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託		
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
教育の機会均等	経済的に不安定な保護者に対し援助を行った。	保護者の経済的負担が軽減された。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	2	小学校要・準要保護児童援助事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	11,249	11,775	13,000	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費		11,249	11,775	13,000	
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	13	14	54	国庫…要保護児童生徒援助費補助金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		11,236	11,761	12,946	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1 申請受付(当初・新就・中途)	学校長経由	人	196	193	211
2 要・準要保護認定	審査	人	190	185	199
3 援助費支給	7月・10月・1月・3月支給	千円	11,249	11,400	11,775
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
認定率	%	94.63	95.85	94.31	認定率=要・準要数/申請数 割 合=要・準要数/全児童数
全児童に占める要・準要割合	%	15.00	16.37	17.61	
就学援助規則の制定					

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み
(施策を取り巻く環境) 全児童数は減少しているが、要・準要保護児童の割合は年々増加傾向にある。 H22年度に専用システム導入、H23年度に所得基準の導入、H24年度に規則制定を行い事務改善を図った。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 貧困化対策としても重要な事業であると考えており、今後も事業継続する必要がある。 また、近隣市町の制度とのバランスも考慮しつつ、より充実した制度の拡充を考えていきたい。(特に宮津市制度との統一化) また、ホームページ等を活用するなど制度周知に努めていきたいと考える。
(課題の解決についての提案など)	自己評価 3
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続 <input type="radio"/> 2 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続 <input type="checkbox"/> 4 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討 <input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 7 終了・完了

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		学校教育課	小池信助	奥野眞敏
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
小学校情報教育推進事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画) 教育内容の充実		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
IT活用による情報教育を推進するため、児童の実態に即した適切な指導を行う。		補助金の支給		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
情報教育のレベルアップ	授業でのパソコン教室	児童が情報機器を扱う技術を向上させることができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	5	小学校情報教育推進事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	30,959	29,062	26,460	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		30,959	29,062	26,460	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		30,959	29,062	26,460	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1	情報機器の活用	授業	日	随時	随時
2	PC整備	PC教室用PCリース料支払い	月	12	12
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
PCリース台数	台	277	277	256	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	ある		
連携の可能性	他課で類似の事務事業は		<input type="radio"/>	ない	ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	ある	
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は		ない	<input type="radio"/>	ある
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	ある	
事業委託の可能性	既に全部委託済		更なる委託化が可能		委託化の余地あり <input type="radio"/> 委託化は不可能	
	市場化テストの導入について検討する余地がある		市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性			1 改善の余地はない	<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
			3 改善の余地が多い		4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み								
(施策を取り巻く環境) PCリース期限後の更新	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 今後も重点的に取組む必要があり、電子黒板等の活用も含め、教職員のリテラシーの向上対策が課題である。 インストラクターによる支援には財政面での制限もあるため、学校間・教職員間の連携により、能力のある職員等を講師としての職員研修や先進的な取組の事例報告会等の開催に取組んでいきたい。 また、一方でスマートフォンやインターネット等による「いじめ」や「犯罪」も多く発生しており、使用にあたってのモラル教育の推進を図りたい。								
(課題の解決についての提案など) 更新するにあたっての検討 (再リース・新規リース・購入)	自己評価 3								
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td><input type="radio"/> 1 重点的に継続</td> <td><input type="radio"/> 2 現状のまま継続</td> <td><input type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続</td> <td><input type="radio"/> 4 縮小を検討</td> </tr> <tr> <td><input type="radio"/> 5 統合・連携を検討</td> <td><input type="radio"/> 6 休止・廃止を検討</td> <td><input type="radio"/> 7 終了・完了</td> <td></td> </tr> </table>	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="radio"/> 4 縮小を検討	<input type="radio"/> 5 統合・連携を検討	<input type="radio"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="radio"/> 7 終了・完了	
<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="radio"/> 4 縮小を検討						
<input type="radio"/> 5 統合・連携を検討	<input type="radio"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="radio"/> 7 終了・完了							

9 その他特記事項  
IT ……Information Technologyの略。「情報技術」のことで、コンピューターやデータ通信に関する技術の総称。  
ICT……Information and Communication Technologyの略。「情報通信技術」のことで、コンピューターの活用に関する技術の総称。主に公共事業でのコンピューター活用について用いられる。

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		学校教育課	小池信助	山本泰久
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
小学校理科・算数教育設備整備事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
		(基本計画)	学校施設・設備の整備	
	個別計画	数量基準到達、小学校間で生じている設備整備の格差解消に向け、年次計画を立て取り組む		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
理科教育振興法 理科教育設備整備費等補助金交付要綱 など		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
理科、算数教育充実のための設備整備による理科教育振興		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
各校の理科・算数備品の充実	備品の整備実施	授業での活用

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	6・7	小学校理科・算数教育設備整備事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	342	216	2,033	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		342	216	2,033	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
	その他					
財源内訳	国・府支出金	千円			801	
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		342	216	1,232	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1	設備の活用	授業	日	随時	随時
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
理科数量基準		未達成	未達成	未達成	
算数数量基準		未達成	未達成	未達成	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
連携の可能性	他課で類似の事務事業は		<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
事業委託の可能性	既に全部委託済	<input type="radio"/>	更なる委託化が可能	<input type="radio"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="radio"/>			
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="radio"/>	3 改善の余地が多い	<input type="radio"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み						
(施策を取り巻く環境) 国庫補助金については、平成24年度の補正予算を活用し、平成25～27年度まで設備整備を行った。そのため、平成25～27年度は小規模の整備のみ行った。 (課題の解決についての提案など) 設備補充を進めるうえからも、今後も国庫補助金を活用し計画的に設備整備を図るとともに、使用できないような設備品については廃棄処分を行っていく必要がある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 平成25年度～27年度は国庫補助金を活用した整備を行わないが、実際には各校とも整備率は低いため継続して事業を行う必要がある。						
自己評価							
今後の方向性	3						
<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="radio"/>	4 縮小を検討
<input type="radio"/>	5 統合・連携を検討	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="radio"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

--



# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		学校教育課	小池信助	杉本真由美	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
小学校児童遠距離通学支援事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
なし。(旧加悦町からの引継)		<input type="radio"/>	ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/>	義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/>	建設・整備事業	計画などの策定	
通学距離が片道4km以上の児童の保護者に対し通学費の補助を行う。 【年間3,000円】		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/>	全部委託	一部委託
			<input type="radio"/>	委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
支給要件に基づいた適正な対象者の把握と補助。	H23年度に徹底した距離要件を基に対象者を把握。	支給要件に基づいた補助支給ができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	9	小学校児童遠距離通学支援事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	3	3	6	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		3	3	6	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		3	3	6	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 対象者リストアップ	学校へ照会	人	1	1	1
2 補助金交付	12月頃、保護者へ	人	1	1	1
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
補助金受給者	人	1	1	1	平成23年度以降、距離要件を厳格化した。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題					
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない			
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は		<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
事業委託 の可能性	既に全部委託済		<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり			
	市場化テストの導入について検討する余地がある		<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能			
改善の可能性		<input type="radio"/>		1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>		2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/>		3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>		4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み																
<p>(施策を取り巻く環境)</p> <p>H23年度以降、片道4km以上の条件を徹底した。学校統廃合により今後該当校が増える可能性もある。有害鳥獣の出没などにより、公共交通機関利用の通学も考えられる。</p> <p>(課題の解決についての提案など)</p> <p>これまでの該当校は加悦地域のみだったが、今後の学校統廃合の規模によっては他地域での該当校が出る可能性もあるため、補助要綱の整理が必要と考えられる。</p>	<p>(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)</p> <p>学校再編の状況によっては、通学対策を抜本的に見直す必要があるが、それまでは現行の制度での支援としたい。</p>																
自己評価																	
3																	
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td><input type="radio"/></td> <td>1 重点的に継続</td> <td><input type="radio"/></td> <td>2 現状のまま継続</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>3 内容を見直しながら継続</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>4 縮小を検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>5 統合・連携を検討</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>6 休止・廃止を検討</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>7 終了・完了</td> <td colspan="2"></td> </tr> </table>	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		
<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討										
<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了												

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		学校教育課	小池信助	安藤 峻	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
小学校特別支援教育就学奨励事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な援助を行う。(給食費、学用品等購入費、校外活動費、修学旅行費等) 【国庫補助事業】		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/	
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>		
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
教育の機会均等	特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、給食費等の援助を行った。	保護者の経済的負担が軽減された。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	10	小学校特別支援教育就学奨励事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	427	506	658	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費		427	506	658	
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	185	247	328	国庫…特別支援教育 就学奨励費補助金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		242	259	330	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 申請受付	学校長経由	人	18	22	22
2 支弁区分の決定	所得審査	人	18	19	19
3 奨励費支給	8月・10月・1月・3月支給	千円	427	652	506
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					国の要綱及び事務処理要領に則って行うため、特になし。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	修学旅行費は半額を支給しているが、特支は国の補助限度額があり、他市町は、補助限度額を支給している。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="radio"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み
(施策を取り巻く環境) 引続き、国の要綱及び事務処理要領に則って、事務を進めていく。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状維持とする。
(課題の解決についての提案など) 修学旅行費を半額支給しているが、要保護と違い特支は補助限度額が決まっている。 他市町は、補助限度額を支給している。	
自己評価	
今後の方向性	3
<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続
<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続
	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		学校教育課	小池信助	山本泰久
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
小学校教育振興費一般経費		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
		(基本計画)	教育内容の充実	
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町財務規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
与謝野町補助金等の交付に関する規則		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
教材等の購入や学力診断テスト、学級集団アセスメント等を取組むことにより、学力の充実、向上、また不登校・いじめの防止、早期発見につなげる。		補助金の支給	有	無
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安定した学校・学級経営 学力の向上	学力診断テスト ハイパーQ-U心理検査 教材費等の購入	学力テスト等を行うことにより、学力アップに向けての課題がわかった。ハイパーQ-Uについては、活用に関しての研修会を実施したため、昨年度より分析・検証することができ、より安定した学級集団づくりに向け活用することができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	2	小学校費
目	2	教育振興費
事業	50	小学校教育振興費一般経費

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	15,011	24,862	14,122	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		12,458	22,553	11,433	
	扶助費					
	補助費		2,553	2,309	2,689	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	503	770	420	H27年度 もうすぐ1年生体験入学補助金 170千円 学力向上システム開発校委託金 500千円 土曜教育実践研究事業委託金 100千円
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		14,508	24,092	13,702	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1	学力の把握	標準学力診断テスト	回	1	1
2	学級づくり	ハイパーQ-U心理検査	回	1	2
3	教材費等の整備	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時
4	校外活動費等の補助金交付	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
予算執行率	%	95.2	100	95.2	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題				
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり				
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/> いない				
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり				
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり					
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり					
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり					
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり				
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり				
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり				
事業委託 の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>		委託化の余地あり	<input checked="" type="radio"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない					
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある				
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要				

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 規範意識・学力が低下傾向にある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) いじめや不登校等の対策、さらには学力向上を目指して、よりよい学級経営を進めるため、Q-U心理検査を実施していくものとする。特に昨年度から設置した活用推進委員会をより活発化し、学校間や職員間での認識格差等を改善していきたいと考えている。							
(課題の解決についての提案など) 学力向上に向けての事業整備・活用 教職員研修の充実 問題事象・いじめ防止に向けての組織強化	本年度からは全ての小中学校で、年間2回のQ-Uテストを実施し、学期間での改善の取組みの検証を行いながら、よりよい学習環境づくりを目指していきたいと考える。							
	自己評価		3					
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直ししながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="radio"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

○いじめ状況について・・・別紙資料のとおり
○京都府学力診断テストの結果等について・・・ 別紙資料のとおり

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		学校教育課	小池信助	中上伸午
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
中学校施設整備事業		<input type="radio"/> 新規	年度	28年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	学校施設・施設の整備	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文部科学省学校施設整備指針 与謝野町立小学校及び中学校の管理運営に関する規則		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理	
		<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
整備計画書により、耐震化優先順位を考慮し、効率的に耐震化を図りながら施設整備を実施する。		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/
		委託	<input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 一部委託	
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
本年度から加悦中学校改築工事に着手し、平成29年3月31日までに完成の予定。	屋体棟を8月末までに完成する。	予定どおり屋体棟を完成することが出来た。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費
事業	3	中学校施設整備費

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	230,551	911,987	1,415,570	
総事業費の内訳	人件費				244	
	物件費		35,528	27,895	57,149	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費		192,883	884,092	1,358,177	
	その他	2,140				
財源内訳	国・府支出金	千円	18,281	161,438	210,000	・公立学校施設整備費国庫負担金(国)6,638 ・学校施設環境改善交付金(国)154,800 ・全国防災事業債252,800 ・緊急防災減債事業債403,600 ・合併特例債77,300
	地方債		198,000	733,700	1,112,600	
	その他特定財源					
	一般財源		14,270	16,849	92,970	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	
1	加悦中学校改築工事	行政、学校、業者との調整会議	回	23	45	49
2						
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
耐震化率の向上	%	66.7	66.7	66.7	平成28年度完成予定の加悦中学校改築により耐震化率100%達成。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない		
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
事業委託の可能性	<input type="radio"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 加悦中学校改築により、ほぼ全部屋にエアコンが整備されることから、他の2中学についても均衡を図るため、設置の検討が必要である。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) まずは、加悦中学校改築工事の安全施工に全力をあげていきたいと考えている。一方で、他の2中学における普通教室等へのエアコン設置に向けた準備を進めていきたい。							
(課題の解決についての提案など) 出来るだけ国の補助金を活用し、他の2中学にも早急にエアコンを設置していく。	自己評価 4							
今後の方向性	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項



# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		学校教育課	小池信助	杉本 真由美	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
中学校組合負担金		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
与謝野町宮津市中学校組合条例		<input type="radio"/>	ソフト事業	施設の維持管理	
			義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容			建設・整備事業	計画などの策定	
与謝野町宮津市中学校組合負担金		補助金の支給	有	無	
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安全で快適な中学校運営がされるよう、交付税算入並びに町市分担金の支出。	負担金であるため、記載事項なし。	負担金であるため、記載事項なし。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	1	学校管理費
事業	3	中学校組合負担金

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	64,018	72,002	61,175	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		64,018	72,002	61,175	
	投資的経費					
財源内訳		千円				
国・府支出金						
地方債						
その他特定財源						
一般財源			64,018	72,002	75,580	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 交付税算入分の支払	与謝野町宮津市中学校組合分担金 条例に基づいた支出	千円	37,978	37,504	37,666
2 町市分担金の支払	交付税算入分以外の経費を構成 市町で按分	千円	26,040	38,076	34,336
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
中学校負担金(交付税算入分)	千円	37,978	37,504	37,666	交付税算入分は、学校数、学級数、生徒数 により算定。 町市分担金は、交付税算入分で賄えない 経費を構成市町別の生徒数で 按分。
中学校負担金(町市分担金)	千円	26,040	38,076	34,336	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変 更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託 の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり <input type="radio"/>	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>		
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見		今後の具体的な取り組み					
(施策を取り巻く環境) 経常経費について、交付税算入分では賄えない現状が通常に なっており、町市分担金の負担に頼らざるを得ない状況であ る。 宮津市からの生徒の編入が増え、事務の負担も多くなる中、 町市分担金の増が懸念される。 (課題の解決についての提案など) 橋立中学校において、経費節減に向けて常に 創意工夫を行っている。今後も継続する。 町市分担金負担の検討が必要である。		(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状維持とする。					
		自己評価		4			
今後の方向性	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		学校教育課	小池信助	安藤 峻	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
中学校要・準要保護生徒援助事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
学校教育法第19条 与謝野町就学援助規則		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定		
経済的理由によつて、就学困難と認められる生徒の保護者に対して必要な援助を行う。(給食費、学用品費、通学用品費、校外活動費、修学旅行費、PTA会費、クラブ活動費等) 【要保護のみ国庫補助対象】		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="checkbox"/>	/	
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託		
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
教育の機会均等	経済的に不安定な保護者に対し援助を行った。	保護者の経済的負担が軽減された。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	2	中学校要・準要保護生徒援助事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	12,669	9,851	12,900	H23年度から新たにPTA会費、クラブ活動費の支給を開始した。
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費		12,669	9,851	12,900	
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	33	102	35	国庫…要保護児童生徒援助費補助金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		12,636	9,749	12,865	

5 事務事業の手段と活動指標						
事務事業を構成する業務		手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1	申請受付(当初・新就・中途)	学校長経由	人	130	93	97
2	要・準要保護認定	審査	人	118	91	95
3	援助費支給	7月・10月・1月・3月支給	千円	12,636	11,900	9,749
4						
5						

6 事務事業の実績					
成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
認定率	%	97.94%	97.85%	97.94%	認定率=要・準要数/申請数 割 合=要・準要数/全児童数
全児童に占める要・準要割合	%	16.84%	17.11%	17.86%	
就学援助規則の制定					

7 事務事業の事後評価						
チェック項目			該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり <input type="radio"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性			<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある
			<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性						
職場からの意見			今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境)			(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)			
要・準要保護生徒の割合は年々増加傾向にある。H22年度に専用システム導入、H23年度に所得基準の導入、H24年度に規則制定を行い事務改善を図った。			<p>貧困化対策としても重要な事業であると考えており、今後も事業継続する必要がある。</p> <p>また、近隣市町の制度とのバランスも考慮しつつ、より充実した制度の拡充を考えていきたい。(特に宮津市制度との統一化)</p> <p>また、ホームページ等を活用するなど制度周知に努めていきたいと考える。</p>			
(課題の解決についての提案など)			自己評価			
			3			
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了

9 その他特記事項						

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		学校教育課	小池信助	奥野眞敏
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
中学校情報教育推進事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
		(基本計画)	教育内容の充実	
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
IT活用による情報教育を推進するため、生徒の実態に即した適切な指導を行う。		補助金の支給		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
情報教育のレベルアップ	授業でのパソコン教室	生徒が情報機器を扱う技術を向上させることができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	5	中学校情報教育推進事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	4,730	4,879	6,830	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		4,730	4,879	6,830	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		4,730	4,879	6,830	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1	情報機器の活用	授業	日	随時	随時
2	PC整備	PC教室用PCリース料支払い	月	12	12
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
PCリース台数	台	86	86	90	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
事業委託の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性			1 改善の余地はない		<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
			3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) PCリース期限後の更新	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状維持とし、機器更新にあたっては、機能・環境レベルの状況を十分考慮のうえ、必要最小限の整備を行うこととする。 また、一方でスマートフォンやインターネット等による「いじめ」や「犯罪」も多く多発しており、使用にあたってのモラル教育の推進を図るとともに、家庭を巻き込んだ取組みを強化していきたいと考える。			
(課題の解決についての提案など) 更新するにあたっての検討 (再リース・新規リース・購入)				
	自己評価 3			
今後の方向性	1 重点的に継続 <input type="radio"/>	2 現状のまま継続 <input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続 <input type="checkbox"/>	4 縮小を検討 <input type="checkbox"/>
	5 統合・連携を検討 <input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/>	7 終了・完了 <input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

IT ……Information Technologyの略。「情報技術」のことで、コンピューターやデータ通信に関する技術の総称。

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		学校教育課	小池信助	山本泰久
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
中学校理科・数学教育設備整備事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
		(基本計画)	学校施設・設備の整備	
	個別計画	数量基準到達、中学校間で生じている設備整備の格差解消に向け、年次計画を立て取り組む		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
理科教育振興法、理科教育設備整備費等補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
理科、数学教育充実のための設備整備による理科教育振興		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/
		委託	<input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 一部委託	
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
各校の理科・数学備品の充実	備品の整備	授業での活用

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	6・7	中学校理科・算数教育設備整備事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	198	184	1,175	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		198	184	1,175	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
	その他					
財源内訳	国・府支出金	千円			449	
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		198	184	726	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1	設備の活用	授業	日	随時	随時
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
理科数量基準		未達成	未達成	未達成	
数学数量基準		未達成	未達成	未達成	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
<p>(施策を取り巻く環境)</p> <p>国庫補助金については、平成24年度の補正予算を活用し、平成25～27年度まで設備整備を行った。そのため、平成25～27年度は小規模の整備のみ行った。</p> <p>(課題の解決についての提案など)</p> <p>設備補充を進めるうえからも、今後も国庫補助金を活用し計画的に設備整備を図るとともに、使用できないような設備品については廃棄処分を行っていく必要がある。</p>	<p>(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)</p> <p>平成25年度～27年度は国庫補助金を活用した整備を行わないが、実際には各校とも整備率は低いため継続して事業を行う必要がある。</p> <p>※H26年度のコメント</p>			
自己評価				
3				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項



# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		学校教育課	小池信助	杉本真由美	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
中学校生徒遠距離通学支援事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
なし。(旧加悦町からの引継)		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
通学距離が片道6km以上の生徒の保護者に対し通学費の補助を行う。 【年間4,000円】		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
支給要件に基づいた適正な対象者の把握と補助。	H23年度に徹底した距離要件を基に対象者を把握。	支給要件に基づいた補助支給ができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	9	中学校生徒遠距離通学支援事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	20	12	12	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		20	12	12	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		20	12	12	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 対象者リストアップ	学校へ照会	件	5	3	3
2 補助金交付	12月頃、保護者へ	件	5	3	3
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
補助金受給者	人	5	3	3	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/>	いない
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
事業委託 の可能性	既に全部委託済	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み
(施策を取り巻く環境) 距離要件は徹底されている。 学校統廃合により今後該当校が増える可能性もある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状維持とする。
(課題の解決についての提案など) これまでの該当校は加悦地域のみだったが、今後の学校統廃合の規模によっては他地域での該当校が出る可能性もあるため、補助要綱の整理が必要と考えられる。	
自己評価	
今後の方向性	3
1 重点的に継続	<input type="radio"/>
2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>
3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>
4 縮小を検討	<input type="checkbox"/>
5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>
6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>
7 終了・完了	<input type="checkbox"/>

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		学校教育課	小池信助	安藤 峻	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
中学校特別支援教育就学奨励事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱		<input type="checkbox"/> ソフト事業		施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業		内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="checkbox"/> 建設・整備事業		計画などの策定	
特別支援学級に就学する児童の保護者の経済的負担を軽減するため、必要な援助を行う。(給食費、学用品等購入費、校外活動費、修学旅行費等) 【国庫補助事業】		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="checkbox"/>	
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託	
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
教育の機会均等	特別支援学級に在籍する生徒の保護者に対し、給食費等の援助を行った。	保護者の経済的負担が軽減された。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	10	中学校特別支援教育就学奨励事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	338	414	401	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費		338	414	401	
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	149	190	200	国庫…特別支援教育就学奨励費補助金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		189	224	201	

5 事務事業の手段と活動指標						
事務事業を構成する業務		手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1	申請受付	学校長経由	人	10	9	9
2	支弁区分の決定	所得審査	人	10	9	9
3	奨励費支給	8月・10月・1月・3月支給	千円	338	583	414
4						
5						

6 事務事業の実績					
成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					国の要綱及び事務処理要領に則って行うため、特になし。

7 事務事業の事後評価						
チェック項目			該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
事業委託の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり <input type="radio"/> 委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性			<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある
			<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性						
職場からの意見			今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境)			(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)			
引続き、国の要綱及び事務処理要領に則って、事務を進めていく。			現状維持とする。			
(課題の解決についての提案など)			自己評価			
修学旅行費を半額支給しているが、要保護と違い特支は補助限度額が決まっている。他市町は、補助限度額を支給している。			3			
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了

9 その他特記事項						

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		学校教育課	小池信助	山本泰久
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
中学校教育振興費一般経費		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	教育内容の充実	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町財務規則 与謝野町補助金等の交付に関する規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
教材等の購入や学力診断テスト、学級集団アセスメント等を取組むことにより、学力の充実、向上、また不登校・いじめの防止、早期発見につなげる。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安定した学校・学級経営 学力の向上	学力診断テスト ハイパーQ-U心理検査 教材費等の購入	学力テスト等を行うことにより、学力アップに向けての課題がわかった。ハイパーQ-Uについては、活用に関しての研修会を実施したため、昨年度より分析・検証することができ、より安定した学級集団づくりに向け活用することができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	3	中学校費
目	2	教育振興費
事業	50	中学校教育振興費一般経費

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	10,547	13,053	14,876	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		7,943	9,743	11,942	
	扶助費					
	補助費		2,604	3,310	2,934	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	73	82	70	KYO発見仕事文化体験活動推進事業補助金 70千円 土曜教育実践研究事業委託金 12千円
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		10,474	12,971	14,806	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1	学力等の把握	標準学力診断テスト	回	1	1
2	学級づくり	ハイパーQ-U心理検査	回	1	2
3	教材費等の整備	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時
4	校外活動費等の補助金交付	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時
5	各クラブの対外試合経費支出	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
予算執行率	%	91.2	100	94.9	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題				
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある				
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/> いない				
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある				
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある					
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある					
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある					
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある				
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある				
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある				
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>		委託化の余地あり	<input checked="" type="radio"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない					
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある				
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要				

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 規範意識・学力が低下傾向にある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) いじめや不登校等の対策、さらには学力向上を目指して、よりよい学級経営を進めるため、Q-U心理検査を実施していくものとする。特に昨年度から設置した活用推進委員会をより活発化し、学校間や職員間での認識格差等を改善していきたいと考えている。							
(課題の解決についての提案など) 学力向上に向けての事業整備・活用 教職員研修の充実 問題事象・いじめ防止に向けての組織強化	本年度からは全ての小中学校で、年間2回のQ-Uテストを実施し、学期間での改善の取組みの検証を行いながら、よりよい学習環境づくりを目指していきたいと考える。							
	自己評価		3					
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

○いじめ状況について・・・別紙資料のとおり

○京都府学力診断テストの結果等について・・・ 別紙資料のとおり

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		学校教育課	小池信助	山本泰久
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
幼稚園管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	18年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	-	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		ソフト事業	<input type="radio"/>	施設の維持管理
		義務的事業	<input type="radio"/>	内部管理事務
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定
園児が安全で安心して通園できるよう施設の維持管理や運営を行う。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	全部委託	一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
幼稚園・保育所からの認定こども園への迅速かつ適正な移行を行う。	保育所担当課である福祉課との連携	園児・保護者等への不安軽減 保育・教育の充実

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	4	幼稚園費
目	1	幼稚園費
事業	2	幼稚園管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	24,186	29,242	5,112	
総事業費の内訳	人件費		1,838	2,404	459	
	物件費		20,932	25,048	3,944	
	扶助費					
	補助費		1,416	1,790	709	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				幼稚園使用料 預かり保育料等
	地方債					
	その他特定財源		6,780	5,284	2,955	
	一般財源		17,406	23,958	2,157	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1	管理運営事務	財務規則に沿った予算執行	月	随時	随時
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
予算執行率	%	98.2	100	98.6	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
連携の可能性	他課で類似の事務事業は		<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
効率性	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
			コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある
	(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
事業委託の可能性	既に全部委託済		<input type="radio"/>	更なる委託化が可能	<input type="radio"/>	委託化の余地あり	
	市場化テストの導入について検討する余地がある		<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="radio"/>	委託化は不可能	
改善の可能性		1 改善の余地はない		<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
		3 改善の余地が多い		<input type="radio"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み				
(施策を取り巻く環境) 幼稚園・保育所の認定こども園化	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 幼稚園と保育所の一体化を図るため、旧町ごとに「認定こども園」を整備していくこととしており、まずは、「岩滝認定こども園(かえでこども園)」の建設に向けた準備を進める。 平成28年度からは岩滝幼稚園と岩滝保育所を統合再編し、岩滝保育所を使用して、認定こども園としてスタートする。				
(課題の解決についての提案など) 認定こども園整備に向けての体制整備	自己評価 3				
今後の方向性	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	2 現状のまま継続	3 内容を見直ししながら継続	4 縮小を検討
	<input type="radio"/>	5 統合・連携を検討	6 休止・廃止を検討	7 終了・完了	

9 その他特記事項

平成28年度から岩滝幼稚園は、幼保連携型認定こども園に移行となる。



# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		学校教育課	小池信助	山本泰久
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
幼稚園施設整備事業 (平成27年度:認定こども園施設整備事業)		<input type="radio"/> 新規	26年度	年度
		<input type="checkbox"/> 継続	H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
		(基本計画)	(2)学校などの再配置の推進	
	個別計画	与謝野町子ども・子育て支援事業計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理	
		<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
園児が安全で安心して通園できるよう施設整備を行う。 岩滝認定こども園(仮称)整備にあたり、事前調査を実施する。		補助金の支給		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="checkbox"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
岩滝幼稚園の敷地内に、認定こども園が整備できるのかどうか、岩滝認定こども園(仮称)整備事前調査により、確認する。	業務委託により、事前調査の実施	岩滝幼稚園の敷地内に、認定こども園が整備できるよう調整が図れる。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	4	幼稚園費
目	1	幼稚園費
事業	4	認定こども園施設整備事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	2,916	12,500		
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		2,916	12,410		
	扶助費					
	補助費			90		
	投資的経費					
財源内訳	その他					
	国・府支出金	千円				合併特例債
	地方債			1,170		
	その他特定財源					
一般財源	2,916		11,240			



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1	整備事前調査業務	行政、幼稚園、業者との調整	年	随時	随時
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
事業実績	%	100	100	100	事業の完了

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	平成29年度に岩滝認定こども園(仮称)としてスタートするためには、設計や施工に至るまでが非常に短く、大変タイトなスケジュールである。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託の可能性	<input type="radio"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="checkbox"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 新園舎の建築と同時に既存園舎の取り壊し、備品等の移転作業を同時に進行していく必要がある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)			
(課題の解決についての提案など) 教育委員会・子育て応援課との連携強化				
	自己評価 3			
今後の方向性	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

機構改革により認定こども園施設整備事業については、平成28年度からは子育て応援課が担当課となるため、予算計上は町長部局となる。

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者	
1 事務事業の概要		学校教育課	小池信助	安藤 峻	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
幼稚園就園援助事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	—	(節)	—
	個別計画	(基本計画)			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
加悦聖三一幼稚園教育振興費補助金…なし。(旧加悦町からの引継) 幼稚園就園奨励費補助金、第3子以降保育料無償化事業費補助金…与謝野町私立幼稚園就園奨励費補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理		
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務		
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定		
●振興補助金 施設運営管理に係る定額補助。 ●就園奨励費、第3子以降保育料無償化事業費補助金 町内にある私立幼稚園の設置者が入園料及び保育料の減免をする場合の経費に対する補助。【国庫補助事業】【京都府補助事業】		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/	
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>		
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
保護者の経済的負担の軽減と、公・私立幼稚園間の保護者負担の較差の是正を図る。	私立幼稚園に対し補助を行った	私立幼稚園が保護者に対し減免を行い、保護者の負担が減少した。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	4	幼稚園費
目	1	幼稚園費
事業	5	就園援助事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	1,966	1,540	1,414	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		1,966	1,540	1,414	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	385	261	261	国庫…幼稚園就園奨励費補助金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		1,581	1,279	1,153	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1 教育振興費補助	定額補助	千円	450	450	450
2 調書提出【就園奨励】	保護者→幼稚園→教委	人	19	14	14
3 階層区分決定【就園奨励】	町民税課税額	人	17	14	11
4 補助金交付【就園奨励】	交付申請→交付決定→実績報告→額確定	千円	1,516	1,293	895
5 補助金交付【第3子以降保育料無償化事業費】	交付申請→交付決定→実績報告→額確定	千円	-	0	195

H28年度より始まった

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
幼稚園就園奨励費補助金交付要綱改正	回数	1	1	2	平成17年度以降、一度も要綱改正が行われていなかったが、国の基準に合わせるためH22年度以降毎年実施。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	就園奨励費について、近隣市は市外の私立幼稚園に通園する場合も補助を認めているが当町は行っていない。 また、近隣市が国の上限額を支給しているのに対し、当町は国上限額の1/2の額を支給。		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input checked="" type="radio"/> いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある			
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある				
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある				
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある				
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある			
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input checked="" type="radio"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 幼稚園就園奨励費について、国の上限額は年々引き上げられ、対象者の範囲も広がってきている。正式な要望ではないが、幼稚園側から補助金を国基準まで引き上げてほしいという意見がある。 町外の私立幼稚園より、町外の私立幼稚園に在園する園児の保護者も対象にしてほしいと相談があった。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) <b>現状を維持しながら、国の制度改正への対応を行っていく。</b>							
(課題の解決についての提案など) 町外の私立幼稚園に在園する園児についても対象となるように要綱を改正する。 国の示す保護者の負担割合に近づけるよう補助金額の引き上げを検討する。	自己評価 3							
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直ししながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
京のまなび教育推進事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 遊びは心の栄養源	
	個別計画	(基本計画)	(1) 青少年教育の推進	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
(京都府)京のまなび教室推進事業費補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
(京都府)土曜日の教育支援体制等構築事業補助金交付要綱		<input type="radio"/> 義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業		計画などの策定
地域公民館における児童・生徒の居場所づくりや地域の力を活用した様々な体験活動の提供機会として、小学生等対象の体験活動事業を実施。府の補助を活用した事業で、放課後の事業は「京まなび」、土曜・夏休みの事業は「土曜支援」により実施した。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
土曜日や放課後・夏休み中に各種講座や教室を実施することで、児童・生徒の居場所づくりや様々な体験活動の推進を行う(京都府の補助事業)。	府補助事業を活用し、中央・地域公民館において各種講座を開講	各館で工夫を凝らした教室を開催することができ、延べ参加人数で約2,600人という多くの子どもたちに、土曜日や放課後における居場所を提供や体験活動を提供することができた。教室によっては、文化祭等で地域住民の方に成果を披露したのもあった。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	8	京のまなび教室推進事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	1,693	1,637	1,809	補助費は報償費 ※H28年度からは事業名を「土曜日の教育支援体制等構築事業」に変更し、放課後の事業を中止している。補助金も「京まなび」を中止。
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		373	345	460	
	扶助費					
	補助費		1,320	1,292	1,349	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	1,117	1,084	1,206	京都府補助事業 H27のうち 京まなび:54 土曜支援:1,030
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		576	553	603	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	
1	体験事業の開催	小学生対象の体験事業	回数	178	180	172
2						
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
講座・教室の受講人数	人	2,500	2,500	2,795	前年並みの事業実施を目標とし、 実際の受講者数を実績として把握 する

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある	学校における土曜活用等の状況に より、実施における考え方の整理 が必要となる
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="checkbox"/> ない <input checked="" type="radio"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済 <input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり <input checked="" type="radio"/> 委託化は不可能		
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある <input checked="" type="radio"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input checked="" type="radio"/> 2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み
(施策を取り巻く環境) 京のまなび教室推進事業では、放課後児童クラブと、学校を拠点とした連携を強く求められており、補助事業として続けていくことは困難な傾向にある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 事業そのものは、安定的な運営ができていますが、学校における土曜教育や放課後児童クラブ、平成27年度より開始した放課後学習支援事業との関わりの中で、今後の方向性を検討していく時期にきている。
(課題の解決についての提案など) 平成27年度より放課後学習支援事業を実施しているため、放課後の講座を中止し、土曜日・夏休み等の講座のみを実施する	平成28年度からは、放課後の講座は中止し、土曜日・夏休みの講座のより一層の充実に努めたい。
自己評価 <span style="float: right;">4</span>	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続 <input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続 <input checked="" type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続 <input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討 <input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 7 終了・完了

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
家庭教育事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 遊びは心の栄養源	
		(基本計画)	(1) 青少年教育の推進	
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
(京都府)家庭教育支援基盤形成事業費補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
各小中学校で家庭教育を支援する講座を開催した場合、講師謝金と消耗品を補助。府補助事業を活用して実施。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
就学前・在学中と、それぞれの段階に応じた保護者に対する学習機会や交流の場を提供し、子育てを支援する。	府補助金を活用し、与謝野町立の各校において講演会等を実施	各小中学校において、入学生説明会や授業参観などの機会を活用して、発達段階に応じた子育てに必要な知識を学ぶことができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	9	家庭教育事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	164	132	253	補助費は報償費
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		21	21	44	
	扶助費					
	補助費		143	111	209	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	109	87	168	京都府補助事業
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		55	45	85	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 小中学校における計画作成	計画作成	校	11	11	11
2 事業の実施	講演会等	校	11	11	10
3 事業報告	報告書作成	校	11	11	10
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
実施校数	校	11	11	10	町立小中学校全校での実施を目標とし、その到達度を把握する。H27年度は全校で計画したものの、実施段階において他事業との関係で断念せざるを得ない学校が1校あった。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	府補助事業のため、町立小中学校のみの実施となっている	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない		
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある			
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある			
		<input type="radio"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 各校において実施方法を工夫いただく中で、単なる講演会の開催ではなく、グループワークを実施する学校もある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 家庭教育における地域の人材育成を図る必要がある。							
(課題の解決についての提案など) 与謝野町には、家庭教育のグループワークのファシリテーターを担うことの出来る人材が少なく、その育成・組織化が求められる。								
		自己評価		3				
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直ししながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
成人式開催事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び	
	個別計画	(基本計画)	-	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
(参考:「成人の日」は「国民の祝日に関する法律」による)		<input type="radio"/> ソフト事業	施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定	
成人式の開催		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
		委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
式典を通じて新成人の門出を祝うとともに、社会人としての自覚を促し、青年教育の推進を図る。	成人式の開催	215人の方に出席いただき、新成人の門出を祝うことができた。式典の内容はKYTで生中継を行い、町内にも広く周知することができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	14	成人式開催事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	596	559	658	補助費は報償費
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		32	33	58	
	扶助費					
	補助費		564	526	600	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		596	559	658	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 新成人の把握	住民基本台帳等	人	283	275	275
2 成人式の実施	成人式の開催	回	1	1	1
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
出席者数	人	283	275	215	対象新成人の100パーセント出席を目標とし、実際の出席者数を実績として把握する。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="radio"/> ある		
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="radio"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="radio"/> 委託化の余地あり	<input type="checkbox"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="radio"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 実施時期や実施内容については、各自治体により様々である。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) ふるさとでの友人等との交流の機会であり、社会人としての自覚を促す意義深い事業であり、今後とも実施していく。			
(課題の解決についての提案など) さらなる経費削減案として、記念写真の印刷配布をやめ、ホームページ等からのデータ配信を行うなどの方法がある。ただし、個人情報保護や記念的な意味から見た場合、適切かどうかは十分な協議が必要。	自己評価 4			
今後の方向性	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
生涯学習支援事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び	
	個別計画	(基本計画)	—	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
		<input type="radio"/> 義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業		計画などの策定
各種講座を実施する事で、誰もが生涯を通して学習を深めていけるよう、生涯学習事業を推進します。		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>	
			委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
誰もが生涯を通して学習を深めていけるよう、生涯学習センターや中央・地域公民館等において各種講座や展示会・音楽会などの文化行事を実施するとともに、様々な年代・地域の方に、人権の大切さについて学習する機会を提供することで、社会教育の推進を図る。また、高齢者教育や障害者教育・女性教育など、あらゆる方々への学習機会を提供する。	人権・高齢者・障害者・女性教育など生涯学習の推進及び芸術文化の振興	各館で実施する事業だけでなく、人権講座では地区公民館に出向いての講座を実施するなど、様々な手法で多数の事業を実施することができた。また、文化協会や婦人会、障害者団体など、町内で活動されている多くの団体等の協力を得て、広く生涯学習の推進を図ることができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	23	生涯学習支援事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	4,104	3,918	4,157	補助費は負補交と報償費 人件費は報酬
総事業費の内訳	人件費		672	671	702	
	物件費		790	497	672	
	扶助費					
	補助費		2,642	2,750	2,783	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				その他特定財源は知遊館講座の受講料
	地方債					
	その他特定財源		90	136	70	
	一般財源		4,014	3,782	4,087	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 一般講座	知遊館一般講座の実施	回数	55	44	44
2 人権教育	人権教育講演会の実施	回数	1	1	1
3 高齢者教育	高齢者教室の実施	回数	29	18	18
4 障害者教育	障害者青年学級等の実施	回数	8	5	5
5 女性教育	婦人会への活動補助金の支出	回数	1	1	1

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
知遊館一般講座への参加者数	人	1,200	960	720	前年実績と今年度の実施回数から割り出した人数を目標とし、実際の受講者数を実績として把握する
人権教育講演会への参加者数	人	210	200	185	
高齢者教室への参加者数	人	957	570	589	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	生涯学習に対するニーズの把握
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/> いない	
	連携の 可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
		他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
効率性	手段・ プロセス の効率性	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある	
		情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> ある
		事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性 可能性		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> ある	
		既に全部委託済	<input checked="" type="radio"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="checkbox"/> 委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある		<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	
改善の可能性		1 改善の余地はない		<input checked="" type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
		3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み				
(施策を取り巻く環境) 複雑・多様化する社会情勢の中で、生涯学習に求められるものも多様化・高度化している。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 人権教育・障害者教育・高齢者教育・女性教育など多岐にわたり、それぞれの局面において必要な事業であり、継続していくことは重要であるが、住民や地域、社会のニーズなど、各々の分野を取り巻く環境は多様化しており、その把握に努める必要がある。				
(課題の解決についての提案など) 事業のマンネリ化が一番危惧されるところであるが、定期的な各館の情報交換や、町民からの講座募集などを行い、新たな講座の開設などを行っている。	自己評価 <span style="float: right;">3</span>				
今後の方向性	1 重点的に継続	2 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	4 縮小を検討
	5 統合・連携を検討	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
青少年育成事業		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 遊びは心の栄養源	
	個別計画	(基本計画)		—
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町青少年育成会規則		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業		計画などの策定
青少年の健全育成のため、育成会の指導助言などを行う。		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>	
			委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
地域全体で子どもを育てていく気運の醸成を図るとともに、そのために必要な各種事業を実施する。	育成会活動の実施(親子グラウンドゴルフ、子ども発表会、啓発活動など)	育成会活動では、3年目となるグラウンドゴルフ大会に引き続き取り組みとともに、子ども発表会への来場を各校に呼びかけるなど、多くの方に、子ども達の意見を聞いていただけるよう活動を行った。また、知遊館の子育てふれあい室を親子のふれあいの場として開放した。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	24	青少年育成事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	3,881	1,197	1,303	H28の補助金の増加は、別事業で管理していたPTA補助金の支出科目の移動を行ったため
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		1,748		11	
	扶助費					
	補助費		2,133	1,197	1,292	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	900			
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		2,981	1,197	1,214	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1 親子のふれあいスペースの提供	子育てふれあい室の開放	室	1	1	1
2 育成会への支援	補助金の交付	回	1	1	1
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
子育てホットスペースの利用者	人		700	721	前年並みの事業実施を目標とし、実際の受講者数を実績として把握する。
育成会事業(GG天会・子ども発表会)への参加者	人	248	250	262	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	子育て支援については、子育て応援課の事業や自主サークルなど、近年充実しており、社会教育としての支援のあり方(独自教室の実施)について検討が必要。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託の可能性可能性	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	委託化は不可能	
	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み
(施策を取り巻く環境) 機構改革により子育て応援課が発足したため、その事業との連携等を模索する必要がある	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 「サマーチャレンジ」「子育てふれあい広場」といった長年続いてきた事業を平成26年度で廃止したため、新たな事業の検討が求められる。 与謝野町では、機構改革に伴い子育て応援課を新設し、子育て支援に注力する体制が整ったため、教育委員会の単独事業というより、連携事業を模索する必要がある。 育成会については、従来どおり継続としていきたい。
(課題の解決についての提案など) 平成28年3月より、1年程度の予定で、岩滝子育て支援センターが知遊館で開設されているため、知遊館子育て支援担当中心に可能な施策を検討していきたい。	自己評価 3
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続 <input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続 <input type="checkbox"/> 4 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討 <input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 7 終了・完了

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
リベラルアーツ推進事業		<input type="radio"/> 新規	H27 年度	年度
		<input type="checkbox"/> 継続	H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び	
	個別計画	(基本計画)	—	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="checkbox"/> 義務的事業	内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	計画などの策定
大学教授等を講師に招いた一般教養講座を開催する。通年参加者を募集するとともに、各回毎の一般参加者募集も行う。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
			<input type="checkbox"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
質の高い一般教養講座を開催することで、広く深い視点をもった、これからの与謝野町を担う人材の育成を図る。	計6回の教養講座に加え、1回の自主学习講座を開催。	22名の通年参加者だけでなく、各講座に興味を持たれた方の参加もあり、延べ203人の方に様々な一般教養を学んでいただくことができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	25	リベラルアーツ推進事業

4 事務事業実施にかかる経費							
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)	
総事業費		千円	0	1,005	4,000	補助費は報償費 H28年度は「ヨサノ町民大学事業」(総務費)の中で一括して予算計上されている	
総事業費の内訳	人件費						
	物件費			770	3,472		
	扶助費						
	補助費			235	528		
	投資的経費						
その他							
財源内訳	国・府支出金	千円		375		みらい戦略一括交付金	
	地方債						
	その他特定財源						
	一般財源			630	4,000		



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 事業の企画運営等	専門組織と委託契約を締結	契約		1	1
2 参加者募集(通年参加者)	広報誌等により募集	人		20	22
3 講座の開催	大学教授等を招聘	回		6	6
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
講座への参加人数	人		120	203	1講座20人程度を目標とし、それに対する実数を実績として把握

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある	本講座を受講することで得た知識を、地域等に還元していく仕組みが必要となる		
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="checkbox"/>	いる	いない			
	連携の 可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある			
		他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある			
情報公開	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある				
	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある				
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある			
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input checked="" type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある			<input checked="" type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input checked="" type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 地方創生総合戦略において、人材育成は大きな柱の一つとされており、町民大学等といかに整合を図るかが求められる	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 平成28年度より、ヨサノ町民大学の制度設計が開始されるため、それにあわせて本事業の位置づけ等も議論し、単独の事業ではなく、与謝野町人材育成プログラムの一翼として検討していく必要がある。							
(課題の解決についての提案など) 町民大学の制度設計を行う中で、リベラルアーツ推進事業の位置づけを明確にする必要がある。								
	自己評価		3					
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直ししながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input checked="" type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
放課後学習支援事業		<input type="radio"/> 新規	H27 年度	年度
		<input type="checkbox"/> 継続	H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	(3)教育内容の充実	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
		<input type="checkbox"/> 義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		<input type="checkbox"/> 建設・整備事業		計画などの策定
町内小学校の児童を対象に、放課後を活用した学習支援を行う。講師については地域の方々をお願いする。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
子どもたちを取り巻く社会環境や家庭環境、教育環境は厳しい状況となっており、学校の放課後を活用した学習への支援・サポートを実施することで、あらゆる子ども達の学習機会の確保を図る。	町立9小学校(H27当時)中5小学校において、2学期中のみ試験的に実施	試験的な取り組みとして、2学期のみの実施となったが、延べ164人の児童の学習支援を行うことができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	1	社会教育総務費
事業	26	放課後学習支援事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	0	84	506	補助費は報償費
総事業費の内訳	人件費					
	物件費				10	
	扶助費					
	補助費			84	496	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円		42		みらい戦略一括交付金
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源			42	506	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1 実施学校の決定	校園長会と協議	校		5	5
2 事業の実施	各校ごとに事業を実施	回		54	54
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
利用人数	人		150	164	1校あたり延べ30人利用と想定し、それに対する実利用者数を成果として把握する

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	講師の安定的な確保が課題となる
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託の可能性	可能性	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="radio"/>	委託化の余地あり	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	
		<input type="radio"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 様々な家庭の事情を抱える子ども達に対し、学力向上のための対策が求められている。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 学力向上は学校教育分野が主たる役割を担うものの、社会教育分野からの支援策として、今後も放課後を活用した学習支援は必要と思われる。 平成28年度からは町内全小学校において実施する計画。							
(課題の解決についての提案など) 講師の安定的な確保のため、特別支援員を活用しての事業実施を図りたい。								
自己評価								
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

府補助制度(国補助制度)の変更により、平成28年度より補助対象事業として実施可能と思われる

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
公民館管理運営事業		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び	
		(基本計画)	(1)公民館の充実	
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町公民館条例、施行規則		ソフト事業	<input type="radio"/>	施設の維持管理
		義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定
中央公民館、加悦地域公民館の光熱水費や各種消耗品・修繕、消防設備、自家用電気工作物、機械警備、事務機器等のリースなど		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	全部委託 <input type="radio"/>	一部委託
		委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安全で適切な施設管理を図る	施設管理事務の実施	大きな事故等なく利用いただくことができた

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	2	公民館費
事業	1	公民館管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	17,635	17,286	20,605	人件費は館長報酬、共済費 ※H26の館長支払いは賃金で支出  H28年度より公民館主事を2名増員
総事業費の内訳	人件費			3,168	2,648	
	物件費		17,635	14,118	17,957	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				その他特財は公民館使用料
	地方債					
	その他特定財源		523	569	500	
	一般財源		17,112	16,717	20,105	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 企画運営・管理体制の確立	館長、主事等の配置	人	10	5	5
2 管理委託の実施	清掃・夜間等受付をシルバー 人材センターに委託	契約	0	4	4
3 中央・加悦地域 公民館の貸館業務	貸館回数	回数	1,144	1,100	1,219
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
中央・加悦地域公民館利用者数	人	27,519	27,000	25,620	前年並みの利用を目標とし、実際の 利用人数を実績として把握す る。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある	類似団体等を参考に、全町的な施 設管理の方針を定めることが必要 ではないか。		
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="checkbox"/>	いる	いない			
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある				
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある				
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="checkbox"/>	ない	ある				
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input checked="" type="checkbox"/>	ない	ある				
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input checked="" type="checkbox"/>	ない	ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変 更によるコスト削減の余地は	<input checked="" type="checkbox"/>	ない	ある			
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input checked="" type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input checked="" type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 庁舎や学校の再編が進んでいくほどに、公民館に 期待される役割は増していくものと思われるが、同 時に地区公民館と町直轄の公民館の役割も整理 が必要となる。 (課題の解決についての提案など) 機構改革に伴い、公民館主事を2名増員したため、 それを公民館活動の活性化に結びつけていく必要 がある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 広域にわたる団体の会議や活動の拠点として、一定の需要がある ものの、今後の方向性については、公共施設マネジメントの結果を 待って検討をしていく必要がある。 その一方、機構改革に伴い地域振興課が廃止されたため、特に教 育関係の地域の窓口としての役割は高まっている。そのため、平 成28年度から公民館主事の2名増員を図っており、より一層の活動 強化に取り組む必要がある。							
	自己評価		3					
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input checked="" type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input checked="" type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
公民館活動事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び	
		(基本計画)	(1)公民館の充実	
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町公民館条例、施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
		<input type="radio"/> 義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業		計画などの策定
中央・加悦地域公民館における一般講座・公演等を実施しています。また、町立公民館長・主事研修会を実施し、公民館活動に関する人材の資質向上に務めています。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
町内公民館活動の一層の推進のため、中核となる中央公民館・地域公民館での活動を進めるとともに、必要な研修等を実施する。	一般講座や交流講座の開講など、各種地域公民館活動の実施	先進地視察を行うなど、資質向上に向けて意欲的に取り組むことができた。 また従来から見直しの声が強かった委託事業についての意見交換を行い、一定の共通認識のもとに新年度の委託事業に取り組む素地を作ることができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	5	公民館費
事業	2	公民館活動事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	203	313	333	補助費は負補交と報償費
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		56	98	99	
	扶助費					
	補助費		147	215	234	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		203	313	333	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 地域公民館事業の実施	講座等の実施	回数	15	15	23
2 公民館長・主事研修会の実施	会議・研修会の実施	回数	3	3	4
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
地域公民館 講座・事業参加者数	人	229	190	436	昨年並みの事業実施参加を目標とし、実際の参加人数を実績として把握する。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない <input type="radio"/> ある	地区公民館との連携体制の構築が必要になってきている。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	連携の 可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない <input type="radio"/> ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
情報公開	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/> ない <input type="radio"/> ある		
	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/> ない <input type="radio"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済 <input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり <input type="radio"/> 委託化は不可能		
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある <input type="radio"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない <input type="radio"/> 2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い <input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み
(施策を取り巻く環境) 地域密着の事業は地区公民館が担っているため、児童・高齢者を対象とした事業を中心に実施している。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 中央・地域公民館と地区公民館の関係性を整理しつつ、中央・地域公民館に求められる機能や果たすべき役割を明確にしていく必要がある。
(課題の解決についての提案など) 地域学や小学生に対する学習支援等、地区に取り組んでいただきたい事業を、先ず中央・地域公民館で実施し、その成果やノウハウを地区公民館につなげていくような工夫が必要。	自己評価 2
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続 <input type="radio"/> 2 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 3 内容を見直ししながら継続 <input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討 <input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 7 終了・完了

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
地区公民館整備事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 協働で進めるまちづくり	(節) みんなでつくる元気な地域	
		(基本計画)	(2) 地区公民館の充実	
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町公民館条例、施行規則		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理	
		<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
地区のコミュニティの拠点並びに有事の際の情報拠点施設となる地区公民館の整備		補助金の支給		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
公民館活動の拠点、地域の中核である地区公民館に必要な工事や修繕等を行うことで、適正な整備・維持を図る。	地区要望等に応じて必要な修繕等を行う。	地区公民館に対し、必要な修繕等を行うことができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	2	公民館費
事業	3	地区公民館整備事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	93,103	682	288	H26では明石地区公民館の建設を行ったため、多額の決算となっているが、H27よりは修繕中心の内容となっている
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		8,030	682	288	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費		85,073			
	その他					
財源内訳	国・府支出金	千円	463	100		府支出金はみらい戦略交付金 その他は地元寄附金
	地方債		56,400			
	その他特定財源		29,914	118	88	
	一般財源		6,326	464	200	

※1) H25からH26への繰越額は3,753千円



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 区要望に基づく修繕等	修繕等の実施	件	7	2	4
2	※消防修繕は全体で1件とカウ	件			
3 区要望に基づく公民館建設	公民館建設の実施	件	1	0	0
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
改修・建築等数	件	8	2	4	予算執行を伴う修繕等の実施件数

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある	町立公民館であっても、所有形態が町有・区有と分かれており、修繕等の考え方も異なっている	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる ○	いない		
	連携の 可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある		
		他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="checkbox"/>	ない	ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない ○	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	ある		
事業委託 の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり ○	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input checked="" type="checkbox"/>		
改善の可能性			<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	
			<input checked="" type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 地区公民館の位置づけ・捉え方に地域差がある、地区要望は多数あるが財政的に全てに応えることは困難である。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 地域コミュニティ拠点として、公民館の整備推進は今後も必要な事業と考える。ただし、予算に限りもあり、全ての要望に応えることは不可能なため、優先順位を整理しながら進めていきたい。							
(課題の解決についての提案など) 町有の公民館であっても、地域の活動拠点として地域で守り育てていくという意識の醸成が必要である。	自己評価 2							
今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
地区公民館管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 協働で進めるまちづくり	(節) みんなでつくる元気な地域	
		(基本計画)	(2)地区公民館の充実	
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町公民館条例、施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
消防設備、機会警備、経常経費の処理のほか、地区公民館活動推進事業委託の実施により地域の生涯学習の拠点として様々な学習機会の創出や、住民の地域づくりの支援を行っています。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
地区公民館における公民館活動の推進を図るとともに、地区公民館の適切な管理に必要な措置を行う。	施設の維持管理の他、公民館活動の推進を行う	地区公民館において、公民館活動に取り組んでいただき、多数の事業を実施するとともに、その管理運営にも一定の支援を行うことで、地域コミュニティの推進を行うことができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	2	公民館費
事業	4	地区公民館管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	16,676	15,638	15,944	補助費は報償費
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		13,396	12,502	12,664	
	扶助費					
	補助費		3,280	3,136	3,280	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	2,525	1,400		府支出金はみらい戦略交付金 その他は公民館使用料
	地方債					
	その他特定財源			16		
	一般財源		14,151	14,222	15,944	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 地区公民館活動推進事業	地区公民館との委託契約	館数	20	20	19
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
地区公民館活動の参加者数	人	20,598	20,000	19,667	地区公民館委託事業として、一館あたり10事業程度を目標としている。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない <input type="radio"/> ある	公民館主事の後任の確保に苦勞している地区がある(H27年度では確保できずに受託できない館が1館あった。H28年度からは確保ができ受託いただいている)
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる <input type="checkbox"/> いない	
	連携の 可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない <input type="radio"/> ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
情報公開	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある		
	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/> ない <input type="radio"/> ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/> ない <input type="radio"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない <input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済 <input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="radio"/> 委託化の余地あり <input type="checkbox"/> 委託化は不可能		
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="checkbox"/> 1 改善の余地はない	<input type="radio"/> 2 改善の余地がややある	
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 庁舎や学校の再編が進んでいくほどに、公民館に期待される役割は増していくものと思われる。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 合併後、面的な拡大は出来てきたが、意義等の周知が十分に図れていない部分がある。研修等を通じて公民館活動を行う意義を周知していきたい。			
(課題の解決についての提案など) 館長・主事の人選に苦勞している話は多く聞かすが、引き受けていただければ熱意を持って取り組んでいただいているため、活動を推進することが理解を得る土壌になるものと思われる。				
	自己評価		2	
今後の方向性	<input type="radio"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
知遊館管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び	
		(基本計画)	公民館の充実	
個別計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町立生涯学習センター知遊館条例、与謝野町立生涯学習センター知遊館条例施行規則		ソフト事業	<input type="radio"/>	施設の維持管理
		義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定
消防設備、機会警備、自家用電気工作物、空調設備等施設の管理業務委託、事務機器等のリースなど		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安全で適切な施設管理を図る	施設管理事務の実施	大きな事故等なく利用いただくことができた

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	3	知遊館費
事業	1	知遊館管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	23,854	21,715	22,537	人件費は館長報酬 ※H26の館長支払いは賃金で支出 補助費は報償費
総事業費の内訳	人件費			1,854	1,926	
	物件費		23,697	19,819	20,513	
	扶助費					
	補助費		157	42	98	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円		1,116		府支出金はみら戦略交付金 その他は知遊館使用料
	地方債					
	その他特定財源		1,299	1,292	1,000	
	一般財源		22,555	19,307	21,537	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 企画運営体制の確立	館長、指導員等の配置	人	4	3	3
2 管理体制の確立	館管理を行う職員の配置	回数	1	1	1
3 管理委託の実施	清掃・夜間等受付をシルバー 人材センターに委託	契約	0	2	2
4 知遊館の貸館業務	貸館回数	回数	1,749	1,700	1,780
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
知遊館の利用者数	人	26,957	26,000	26,553	前年並みの利用を目標とし、実際の 利用人数を実績として把握する

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	総合委託契約をオリックスと締結し ているが、契約締結方法等に工夫 が必要。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変 更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="radio"/> 更なる委託化が可能	<input type="radio"/> 委託化の余地あり	<input type="checkbox"/> 委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		<input type="radio"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 与謝野町で唯一の生涯学習センターとして、各種講座の 実施や文化芸術に触れる機会創出が期待されている。 また、本格的な音響照明設備が備えられた施設として、 各種団体の成果発表の場としての根強い需要もある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) ホールを有する施設としての大規模な利用、サークル活動の拠点 としての定期利用など、多くの方に利用いただいている。老朽化に 伴う修繕費や定期的なメンテナンス等、他公民館に比べ多額の コストは生じているが、町唯一の生涯学習センターとして、適切な 管理に努めたい。			
(課題の解決についての提案など) 建設から10年以上が経過し、設備の修繕や取替 等を計画的に行い、安全で適切な施設維持に努め る必要がある。	併せて、野田川わーくぱるとの利用日調整等、町全体としての施設 活用を検討していく必要がある。			
	自己評価		3	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="radio"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉正明	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
文化財保護委員会運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる	
		(基本計画)	文化財の保護、及び文化財の活用	
	個別計画	与謝野町文化財保存活用基本計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町登録文化財に関する規則、与謝野町指定文化財の指定及び与謝野町登録文化財の登録の基準		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
		<input type="radio"/> 義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業		計画などの策定
文化財保護委員会議の開催、文化財の保護及び活用に関する重要事項並びに指定文化財の審議・答申		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
文化財保護委員会の開催、文化財研修等	委員会を開始し、研修等を行った	文化財行政への理解を高めた

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	2	文化財保護委員会運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	51	45	120	
総事業費の内訳	人件費		51	45	120	
	物件費					
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		51	45	120	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 文化財保護委員活動	文化財保護委員会議	回	1	2	1
2 同	町内指定文化財視察	回	0	1	1
3 同	文化財防火査察	回	4	4	4
4 同	両丹文化財保護連絡協議会	回	1	1	1
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					(数値化は難しい)

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	委員の専門性を高める必要がある。 人選に課題。	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
事業委託 の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み
(施策を取り巻く環境) 文化財保護委員会からの積極的な情報発信の取り組みが望まれる。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 文化財保護並びに活用について、広く意見や知見を聞くことができる重要な組織である。
(課題の解決についての提案など) 委員の専門性を高める必要がある。人選に課題。	
自己評価	
今後の方向性	3
<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input checked="" type="radio"/> 2 現状のまま継続
<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討
	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直ししながら継続
	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者	
		社会教育課	坪倉正明	加藤晴彦	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
文化財保護・活用事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画	(章)	明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節)	誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
		(基本計画)	文化財の保護、及び文化財の活用		
	個別計画	与謝野町文化財保護活用基本計画			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/>	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定	
臨時職員給与事務、指定文化財管理(滝のツバキ樹勢回復・木造女神坐像収蔵環境改善事業)、祭礼屋台懸装品調査、文化財広報(文化財標柱管理等)、文化財活用(出前講座等)、全史協総会等調整		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>	
		委託	全部委託 <input type="radio"/>	一部委託	
		委託なし(直営)			

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
文化財を保護活用し、文化財保護意識を高めることで、地域への関心度を高め、町の自活につなげる。	指定文化財の環境改善事業、有形民俗文化財(祭礼屋台幕)調査事業、出前講座等	文化財情報の積極的な広報・周知によって地域の歴史文化の醸成に役立った。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	3	文化財保護・活用事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	4,593	4,190	4,420	
総事業費の内訳	人件費		418	424	470	
	物件費		3,677	3,215	3,410	
	扶助費					
	補助費		47	100	88	
	投資的経費		451	451	452	
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		4,593	4,190	4,420	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 臨時職員給与事務	常勤臨時職員1名雇用	-	12	12	12
2 指定文化財管理	業務委託と直営	回	3	3	3
3 文化財広報	直営	件	6	6	6
4 文化財活用	直営	本	36	20	24
5 全史協総会等		回	6	6	6

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					(数値化は難しい)

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○		担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	基礎調査が不十分な分野が多い。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/> いる	<input type="checkbox"/> いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/> ない	<input checked="" type="radio"/> ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	対象とする分野が相当に多いため、容易ではない。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/> ない	<input type="checkbox"/> ある	
事業委託 の可能性 可能性	<input type="checkbox"/> 既に全部委託済	<input type="checkbox"/> 更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/> 委託化の余地あり	<input type="radio"/> 委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/> 市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/> 1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/> 2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/> 3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/> 4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 文化財の保護と活用と調査研究の三者は不可分の関係である。そのためには、基礎資料の整備が必要であり、それに基づき活用事業を計画実施することが求められる。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 経費面での負担は大きい、重要な事業である。特に「滝の千年ツバキ」は、樹勢回復事業を実施するも、厳しい状況ではあるが、今後とも根気良く継続していきたい。			
(課題の解決についての提案など)  基礎調査の体制整備が求められる。				
自己評価 <span style="float: right;">3</span>				
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="radio"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
指定文化財等補助事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
			(基本計画)	文化財の保護、及び文化財の活用
	個別計画	与謝野町文化財保存活用基本計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町指定文化財等補助金交付要綱		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定
指定文化財の修理等への補助金交付		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
適切な状態で保存されることが必要不可欠であり、所有者の意識を促がし、そのための補助金交付等を行う。	文化財の保護保存の概念に対する所有者等の理解を促がす。	効果的な補助金交付を行った。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	4	指定文化財等補助事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	924	524	528	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費					
	扶助費					
	補助費		924	524	528	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		924	524	528	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1 補助金交付業務		件	5	5	4
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					(数値化は難しい)

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	所有者の保護保存意識を高める必要がある。	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
事業委託の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 所有者の保護保存意識の高揚が不可欠。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 地域にある文化資源の保存を図る上で、重要な事業であり継続する必要がある。			
(課題の解決についての提案など) 地域の文化財と地域文化・歴史との関係性についての認識を深める必要。				
自己評価 <span style="float: right;">3</span>				
今後の方向性	1 重点的に継続 <input type="radio"/>	2 現状のまま継続 <input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続 <input type="checkbox"/>	4 縮小を検討 <input type="checkbox"/>
	5 統合・連携を検討 <input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/>	7 終了・完了 <input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	堀 由紀子
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
伝統的建造物群保存対策事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
	個別計画		与謝野町文化財保存活用基本計画	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、与謝野町伝統的建造物群保存地区保存条例、与謝野町伝統的建造物群保存地区保存条例施行規則、与謝野町伝統的建造物群保存地区補助金交付要綱、与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区の軽微な修理に対する補助金交付要項		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
「与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区保存計画」に基づく ・加悦伝統的建造物群保存地区内の建物の保存、防災事業の検討 ・ちりめん街道を守り育てる会の対応 ・加悦伝統的建造物群保存地区内の住民の課題対応など		補助金の支給		有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>
		委託	全部委託 <input type="radio"/>	一部委託 <input type="radio"/>
		委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
・全国110地区の重伝建地区の一つとして、加悦地区にふさわしい保存修理を実施する。 ・地区との協議は、住民目線に立った丁寧な助言・指導を心がける。 ・町民への啓発周知を推進する。	・国庫補助事業として11件の特定物件等の保存修理を実施した。 ・地域住民の方と協力し、伝建選定10周年記念事業を実施した。 (講演会、まち歩きイベント、写真展)	・11件の保存修理を実施したことにより、町並みの歴史的風致が整えられた。 ・伝建地区外(与謝野町内)への広報活動ができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	8	伝統的建造物群保存対策事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	9,569	30,923	31,662	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		549	887	882	
	扶助費					
	補助費		9,020	30,036	30,780	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	6,305	16,882	17,252	
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		3,264	14,041	14,410	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	
1	伝統的建造物等の保存	伝統的建造物の保存修理	件	4	11	11
2	伝統的建造物等の保存	伝建地区保存審議会の開催	回	1	2	2
3	伝建地区の防災計画の策定	伝建地区防災計画策定協議会の開催	回	0	0	0
4	伝建地区の防災事業の検討	伝建地区防災事業検討会議の開催	回	2	2	2
5	伝建地区の防災	防災学習会・訓練の実施	会	3	2	1

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
保存修理(国庫補助事業)の件数	件	4	11	11	国庫補助事業として実施した伝統的建造物の保存修理の物件数

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	工事単価の判断 大規模な建物の修理 空き家状態の家の維持管理 修理の時に、耐震補強の対策まではされる事例がないこと
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない	
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
情報公開	他事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
事業委託の可能性	既に全部委託済	<input type="radio"/>	更なる委託化が可能	<input type="radio"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない
改善の可能性		1 改善の余地はない		<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
		3 改善の余地が多い		<input type="radio"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 規模が大きいもの、日常的な居住実態がない建物(長期不在住宅含む)の保存修理(維持管理)が課題。 加悦奥川河川改修による町並みの変化。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 長期的な取組であり、今後も継続する必要がある。 今後も建造物等の保存・修理を推進するとともに、観光地としての期待もあるため、地域住民との丁寧な協議を持ちながら、活用についても進める必要がある。							
(課題の解決についての提案など) 活元活動の強化 住民との交流(相談、意見交換、情報共有など) 情報(建物の特性、修理の基本など)を伝え続けること 活用を意識した修理(整備)	海の京都構想の取組や空き家対策等、喫緊の課題であり、関係課や関係団体との連携を密に図り、取組を進める必要がある。							
	自己評価		3					
今後の方向性	<input checked="" type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="radio"/>	4 縮小を検討
	<input type="radio"/>	5 統合・連携を検討	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="radio"/>	7 終了・完了	<input type="radio"/>	

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
遺跡分布調査事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
			(基本計画) 文化財の保護、及び文化財の活用	
	個別計画	与謝野町文化財保存活用基本計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
			<input type="radio"/> 義務的事业	内部管理事務
事務事業の具体的内容			<input type="radio"/> 建設・整備事業	計画などの策定
埋蔵文化財の試掘調査		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
開発事業対応のための試掘調査	計画的に実施した	試掘調査を実施し、遺跡保存に取り組んだ

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	4	文化財保護費
事業	10	遺跡調査事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			3,223	2,662	3,077	
総事業費の内訳	人件費	千円	12	9	25	
	物件費		3,211	2,610	3,032	
	扶助費					
	補助費			43	20	
	投資的経費					
	その他					
財源内訳	国・府支出金	千円	2,250	1,500	1,500	
	地方債					
	その他特定財源			488		
	一般財源		973	674	1,577	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1	遺跡台帳の整備	現地の踏査等	-	1	-
2	埋蔵文化財の保存	試掘確認調査	-	3	2
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					(数値化は難しい)

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題				
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	埋蔵文化財への住民の認識不足		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
事業委託 の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能	
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>		
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 遺跡を開発から保護記録するための住民の意識・理解の深化に取り組む必要性が高い。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 今後も必要な事業である。			
(課題の解決についての提案など) 町の広報を通じた遺跡だけが歴史性を積極的にアピールする。				
自己評価 <span style="float: right;">3</span>				
今後の方向性	1 重点的に継続 <input type="radio"/>	2 現状のまま継続 <input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続 <input type="checkbox"/>	4 縮小を検討 <input type="checkbox"/>
	5 統合・連携を検討 <input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/>	7 終了・完了 <input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	瀬戸真由美
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
図書館管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	18年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び	
	個別計画	(基本計画)	図書館の充実	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
図書館法 与謝野町立図書館条例		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
				義務的事業
事務事業の具体的内容				建設・整備事業
図書・記録その他必要な資料を収集・整理し、住民の利用に供している。利用促進のため、学校・社会教育施設・ボランティアなどとの連携を強化するとともに、おはなし会や講座等イベントの主催及び支援を行う。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
蔵書整備のほか、各種イベントを実施し図書館の利用促進を図る。	おはなし会でのボランティアとの連携など主に子どもの読書推進にかかる事業に取り組む。	おはなし会等の催しを全館で実施できたほか、新刊本を中心に蔵書の充実を進めたが、一方で貸出冊数に関しては昨年度より減少してしまった。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	6	図書館費
事業	1	図書館管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			19,499	19,336	20,132	人件費は共済費、補助費は報償費、負補交
総事業費の内訳	人件費	千円		1,602	1,626	
	物件費		19,441	17,613	18,127	
	扶助費					
	補助費		58	121	379	
	投資的経費					
財源内訳	その他					
	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
一般財源	19,499		19,336	20,132		



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 図書貸出業務	蔵書整備・相互協力活用を含めたリクエストへの対応	冊	140,835	140,000	134,573
2 蔵書充実のための図書購入	住民の要望に応える鮮度の高い基本的図書の購入	千円	3,494	3500	3,491
3 おはなし会・講座等イベント	読書活動を推進するためおはなし会や講習会を実施	回	26	30	35
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
住民一人あたり貸出冊数	冊	6.08	6.07	5.91	町民の中でどれだけ図書館が活用されているか
町民登録率	%	33.6	34	35.5	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	住民のニーズの多様化に応える蔵書の充実、資料提供 貸出冊数減少傾向への対策 インターネット活用による利便性の向上をはじめ、図書館利用に関する町民へのPR
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
効率性	手段・プロセスの効率性	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある
		事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託の可能性	事業委託の可能性	コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	他市町村では、民間事業者へ委託する例も報告されているが、委託することの弊害も指摘されており、現時点では情報収集のみに留めたい。
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	
改善の可能性		1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み						
(施策を取り巻く環境) 平成27年2月から試行していた2分室の昼1時間休室は同年7月から交代要員を増員する形で解消され、分室利用者の利便性が確保された。一方で、貸出冊数減少の対策を考える必要がある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 本館と2つの分室は、その大きさや設備に違いはあるものの、それぞれ住民の生涯学習の場として、また子育て支援の点からも必要とされている施設であり、今後も継続して有効活用されるような取り組みを進めていく必要がある。						
(課題の解決についての提案など) 貸出冊数の減少への対策として、読書へ関心を高める新たな取り組みを実施するとともに、団体や学校との連携を図る。	自己評価 3						
今後の方向性	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

--



# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
農村文化保存伝習センター管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
			(基本計画) 文化財の保護、及び文化財の活用	
	個別計画	与謝野町文化財保存活用基本計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町立農村文化保存伝習センター条例、与謝野町立農村文化保存伝習センター条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
				義務的事業
				内部管理事務
事務事業の具体的内容				建設・整備事業
				計画などの策定
施設管理、収蔵文化財の管理、文化財の資料整理		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
文化財収蔵庫として維持管理	定期的な点検の実施	適宜点検を実施した

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	1	農村文化保存伝習センター管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	117	385	116	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		117	385	116	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		117	385	116	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1 収蔵品の管理	直営	-	1	1	1
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					(数値化は難しい)

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	ある	収蔵量が容量の限界に近い。 収蔵庫としての空調機器などの設備が整っていない。	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	ある		
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	ある		
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="radio"/>	ない	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	ある			
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	ある		
事業委託の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="radio"/>	更なる委託化が可能	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="radio"/>	3 改善の余地が多い	<input type="radio"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 収蔵量が容量の限界に近い。 収蔵庫としての空調機器などの設備が整っていない。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 主な用途が一部変更されている状況であり、一般倉庫としての活用にとどまっており、電気代等の施設維持管理経費のみの支出となっているが、現状での予算確保は必要である。			
(課題の解決についての提案など)				
予算措置	自己評価 3			
今後の方向性	1 重点的に継続 <input type="radio"/>	2 現状のまま継続 <input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続 <input type="radio"/>	4 縮小を検討 <input type="radio"/>
	5 統合・連携を検討 <input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討 <input type="radio"/>	7 終了・完了 <input type="radio"/>	

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者	
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	加藤晴彦	
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度	
三河内郷土資料室管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度	
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定	
事務事業の体系					
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる	
			(基本計画) 文化財の保護、及び文化財の活用		
	個別計画	与謝野町文化財保存活用基本計画			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】			
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町立三河内郷土資料室条例、与謝野町立三河内郷土資料室条例施行規則		<input type="radio"/>	ソフト事業	施設の維持管理	
			義務的事业	内部管理事務	
事務事業の具体的内容			建設・整備事業	計画などの策定	
「与謝野町文化財保存活用基本計画」に基づく ・民具や縮緬織りを中心とした資料展示室の管理運営		補助金の支給		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
		委託	<input type="checkbox"/>	全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
			<input type="radio"/>	委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
年間1,000人入室	小学校の授業利用を促進する	1,000人に大きく届かなかったが、背景には児童数の減少がある。学校利用数は定期的な数値である。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	3	三河内郷土資料室管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			849	726	777	
総事業費の内訳	人件費	千円	2			
	物件費		832	711	762	
	扶助費					
	補助費		15	15	15	
	投資的経費					
財源内訳	その他					
	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
一般財源	849		726	777		

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1	管理運営	2名の管理員の直接雇用	人	2	
2	管理運営	受付業務の委託		1	1
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
入室者数	人	840	1000	539	
利用学校数	校	7	5	4	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	利用者の主体である児童の減少
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託 の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>		
改善の可能性			1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
			3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 利用者の主体である児童の減少の影響が顕著である。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 小学校の授業の中で、昔の民具や織機などを学ぶ上で、実際に触れることのできる貴重な資料室として活用されており、今後も維持継続する必要がある。							
(課題の解決についての提案など) サポート体制を再構築する必要がある。								
	自己評価		3					
今後の方向性	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討	<input type="checkbox"/>
	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>		

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
古墳公園管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
			(基本計画) 文化財の保護、及び文化財の活用	
	個別計画	与謝野町文化財保存活用基本計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町立古墳公園条例、与謝野町立古墳公園条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
施設管理、展示文化財の管理、入園者受付、来園者指導		補助金の支給	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	/
		委託 <input type="radio"/> 全部委託	<input type="radio"/> 一部委託	
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
入園者数の前年度超え	指定管理者の意識高揚に努める	体験コーナーの充実やイベント開催に向けての指定管理者の意欲が見られる

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	5	古墳公園管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			10,066	8,984	8,774	
総事業費の内訳	人件費	千円				
	物件費		9,307	8,984	8,774	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費		759			
財源内訳	その他					
	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
一般財源	10,066		8,984	8,774		

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1	展示品の管理		1	1	1
2	展示施設の管理		1	1	1
3	施設利用イベントの開催		1	1	1
4	来場者の対応	人	2,711	5000	5,444
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
入園者数	人	2,711	5,000	5,444	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	面積規模に対する管理作業(草刈等)		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
事業委託の可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>		
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み																
(施策を取り巻く環境) 学習公園として位置付けらるが、一般公園としての位置付けの意識は高いとは言えない。また、観光公園としての位置付けも課題。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 国史跡の古墳を保存活用する施設として、また丹後のランドマークとしての一面も持ち合わせる施設であり、文化財の保存と観光名所としての重要な施設であるとする。 25年度から、指定管理による管理運営を行っており、イベントなどの実施により、「海の京都構想」やアクセスの整備による、来園者に増加を期待する。																
(課題の解決についての提案など) 一般公園としての活用の検討。観光性を高める方策の検討。	自己評価 3																
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>1 重点的に継続</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>2 現状のまま継続</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>3 内容を見直しながら継続</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>4 縮小を検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>5 統合・連携を検討</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>6 休止・廃止を検討</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>7 終了・完了</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討										
<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>											

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	竹下浩二
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
榎文化資料館管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる	
	個別計画	(基本計画)	文化財の保護、及び文化財の活用	
与謝野町文化財保存活用基本計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、加悦榎文化資料館条例、加悦榎文化資料館条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業	計画などの策定	
「与謝野町文化財保存基本計画」に基づく ・滝のツバキの施設としての管理運営(指定管理)		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>	委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
京都府指定文化財「滝のツバキ」のガイダンス施設として、収蔵品を活用しながら管理運営を実施するとともに、全国榎サミットに向けたもてなし環境を整備する。	建物屋根漏水の修繕、隣接する「日本のツバキ園」遊歩道再整備など、全国榎サミットに向けたハード整備を行った。またオリジナル物販グッズの新規開発にも取り組んだ。	ハード面の修繕・整備に際し、指定管理者から積極的な提案等が見られ、経費削減に大きく寄与した。指定管理者新規開発グッズは榎サミット来場者に好評で物販売上を大きく伸ばした。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	9	榎文化資料館管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			2,776	2,910	2,599	全国榎サミットの開催に向けて27年度当初予算に建物屋根漏水修繕費330万円を計上したが、工法等を工夫し42.2万円に抑えた。28年度は在庫払底した入館チケットの印刷費を計上。
総事業費の内訳	人件費	千円				
	物件費		2,776	2,910	2,599	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		2,776	2,910	2,599	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1	加悦椿文化資料館管理運営有限会社明人夢村による指定管理	人	792	850	923
2					
3					
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
入館者数	人	792	850	923	椿まつり開催日に限らず、「滝のツバキ」見学者が帰りに立ち寄るケースが増えている。また「全国椿サミット」開催を前に入館者増の動きが見られた。

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	「椿にまつわる美術工芸品」を主体としたな収蔵資料と、「『滝のツバキ』についてより知りたい」という来館者のニーズに若干のずれがあり、このずれを埋める展示企画や講座を毎回模索している状況。	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある			
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	複数の業者が入札する状況になって初めて指定管理者制度の効率性が顕在化する。当該施設においてはその状況は実現しにくい。	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
事業委託の可能性	<input type="radio"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある			
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 周辺地域来訪者の多くは「滝のツバキ」を一次目標としている。「滝のツバキ」見学者をいかに当該施設に誘導するかが入館者数増加の鍵となる。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)							
(課題の解決についての提案など) 「滝のツバキ」開花情報の一次発信元としての体制づくりを行い、ガイダンス施設としての機能を強化していく必要がある。また、開花期以外の椿の魅力を発信。								
	自己評価		3					
今後の方向性	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了		

9 その他特記事項

開館後約20年が経過し、設備機器類の経年劣化・不具合が出てくる可能性がある。特に屋根漏水のように建物の特殊性に起因する問題は

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	竹下浩二
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
江山文庫管理運営事業		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる	
		(基本計画)	文化財の保護、及び文化財の活用	
	個別計画	与謝野町文化財保存活用基本計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、与謝野町立江山文庫条例、与謝野町立江山文庫条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
施設管理、展示会の企画と実施、入館者の受付、入館料の出納、入館者への展示解説、文化講座・体験教室等の実施		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	全部委託	一部委託
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
通年で入替えを行う企画展示や文化講座等を通じて、当町の特色ある文化としての短歌・俳句や、与謝蕪村、与謝野鉄幹・晶子といった地域ゆかりの文人たちについて理解を深める。	「海の京都」や「全国権サミット」にちなみつつ短歌・俳句資料を展示する企画展を3回、地域に残る画賛作品を特集した特別展を1回行った。初の試みとして京都府の巡回展を受け入れ実施。また読書会や句会体験講座を月例実施	過去に展示履歴のある館蔵資料を別の切り口で陳列し、広域または全町的イベントに関連する展示が出来た。また初の巡回展受け入れにより新規入館者層の開拓が出来た。以前より実施の月例読書会・句会体験講座を継続、リピーター層を増やすとともに研修室の利用を促進した。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	10	江山文庫管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			5,714	4,979	5,725	28年度計画には与謝野町俳句大会補助金予算満額50万円を含む。同事業収入によって決算時に減額の予定。一方26年度に実施の館蔵資料燻蒸(3年1回)と空調設備点検(隔年)が27年度はいずれも実施対象年でなく、28年度は空調設備点検のみ実施。
総事業費の内訳	人件費	千円	279	295	303	
	物件費		4,788	4,169	4,645	
	扶助費					
	補助費		647	515	777	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				その他特定財源は入館料
	地方債					
	その他特定財源		135	217	300	
	一般財源		4,939	4,762	5,425	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 展示会の企画と開館日数	年間5回の企画展を行い、開館日は必ずいずれかの企画展を観覧可能	日	285	276	276
2 文化講座の企画	散発・或いは定期的に展示解説・読書会・体験講座等を実施	回	35	35	35
3 展示施設の管理	収蔵資料の防虫・防カビ燻蒸を3年に1度、空調施設の点検を隔年で実施	回	2	0	0
4 臨時職員の雇用管理	開館日の受付業務臨時職員を雇用 ※27年度より日・祝はシルバー委託	人	3	1	1
5 入館者の対応		人	1,638	1,900	2,114

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
入館者数	人	1638	1900	2114	26年度入館者数は前年度比約16%の減少であったが、27年度は数年ぶりの2000人越えを記録した。全体の増加に呼応し月例講座などにより研修室利用者数も増加。多くのリピーターに支えられる増加が入館者数の安定化につながると考える。
研修室利用者数	人	434	450	500	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	企画展・文化講座等の周知・宣伝へのさらなる工夫が必要。周辺の類似施設等との相互扶助による周知など出来れば望ましい。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	委託化は土日開館受付業務において27年度より実施。ただ「俳句のまち」としての町の施策を反映させた企画展や文化講座の実施まで業者委託するのは困難。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	
改善の可能性			1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	
			3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 当施設は地理的に「他の目的のついでに寄る」ことがされにくい。多様な企画展示の効率的な実施によるリピーター層の確保と、自主的に「ついで利用」の需要を作る必要がある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)			
(課題の解決についての提案など) 他施設との共同開催や巡回展等を積極的に取り入れる。また各種講座・イベントを積極的に実施し、「ついで利用」の需要を作り出し、発信する。(27年度で一部実施、28年度も実施予定)				
	自己評価		3	
今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1 重点的に継続	<input type="checkbox"/> 2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/> 3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/> 4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/> 5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/> 6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/> 7 終了・完了	

9 その他特記事項

開館から20年が経過し、27年度に修繕は無かったものの、空調設備点検の実施において現在の各室エアコン集中管理機器の基盤がメーカー在庫払底との情報を得ている。その他電気工作物のみならず、今後さまざまな個所の経年劣化・不具合発生が想定される。

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	堀 由紀子
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
旧尾藤家住宅管理運営事業		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる	
	個別計画	(基本計画)	文化財の保護、及び文化財の活用	
与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区保存計画、与謝野町文化財保存活用基本計画				
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則、旧尾藤家住宅条例、旧尾藤家住宅条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
「与謝野町文化財保存活用基本計画」「与謝野町加悦伝統的建造物群保存地区保存計画」に基づく ・加悦伝統的建造物群保存地区内の一般公開住宅としての管理運営(指定管理)		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>	委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
指定管理者(民間)のノウハウや企画力が発揮され、本施設にふさわしい事業展開を実施する。 展示にテーマを設定する。	展示のテーマ設定は定着。 管理人の勉強会開催。 物販に力も入れられた。	接客対応が好評価を得ている。(アンケート結果) 展示に工夫が感じられる。 商品が前年度までより売れるようになった。 入館者数が増えた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	13	旧尾藤家住宅管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			4,323	4,432	4,408	
総事業費の内訳	人件費	千円				
	物件費		4,323	4,432	4,408	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		4,323	4,432	4,408	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	
1	旧尾藤家住宅管理運営	ちりめん街道を守り育てる会による指定管理	人	4,045	4,700	4,495
2						
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
入館者数	人	4,045	4,700	4,495	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は		ない	○	ある	・商品の包装の方法、金額設定の見直し ・観光協会などとの連携 ・テーマ設定後の展示レイアウトの決定 ・情報発信の方法
		他市町の実施方法を把握して		いる	○	いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は		ない	○	ある	
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は		ない	○	ある	
他の事務事業と統合できる可能性は			ない	○	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は		ない	○	ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は		ない	○	ある	・休館日の対応の見直し ・部屋賃等の見直し
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	○	ない		ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は		ない	○	ある	
事業委託 の可能性	○	既に全部委託済		更なる委託化が可能		委託化の余地あり	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある				市場化テストの導入を検討する余地はない	
改善の可能性			1 改善の余地はない		○	2 改善の余地がややある	
			3 改善の余地が多い			4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み				
(施策を取り巻く環境) ・管理人の意識が向上している。 ・他の地区の方と関わる機会が増えている。 ・H26年度から入館者数が増加している。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 重要伝統的建造物群保存地区「ちりめん街道」の中核施設であり、地区の魅力や歴史を伝承する施設としての役割も担っている。指定管理者による、イベントの開催や関係団体との連携イベントなど、「海の京都構想」との連携の取組により、来館者の増加を期待している。 与謝野町ならでは、ちりめん街道ならでは、旧尾藤家住宅ならではの取組が必要である。				
(課題の解決についての提案など) 管理人が、良い事例を見て、何が良いのかを分析・理解し、その要素を取り入れ、実行(試行錯誤)してみる。良い要素(情報)の共有をすること。	自己評価 3				
今後の方向性	○	1 重点的に継続	2 現状のまま継続	3 内容を見直しながら継続	4 縮小を検討
		5 統合・連携を検討	6 休止・廃止を検討	7 終了・完了	

9 その他特記事項

--



# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	加藤晴彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
遺跡環境維持管理事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 誇らしいふるさとの文化を守り、育てる
			(基本計画) 文化財の保護、及び文化財の活用	
	個別計画	与謝野町文化財保存活用基本計画		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
文化財保護法、京都府文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例、与謝野町文化財保護条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事业	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
公有地化した指定史跡の現地環境管理(草刈・浚渫等)		補助金の支給	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	/
		委託	<input type="radio"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託	
			<input type="checkbox"/> 委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
常時管理された状況であること	定期的な草刈り等の実施	管理された状態を維持した

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	15	遺跡環境維持管理事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	637	540	551	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		637	540	551	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		637	540	551	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 日吉ヶ丘遺跡維持管理	草刈等	回	4	4	4
2 滝岡田古墳維持管理	草刈等	回	3	3	3
3 地蔵山墳墓維持管理	草刈等	回	3	3	3
4 小森山1号墳維持管理	草刈等	回	3	3	3
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
					(数値化は難しい)

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	保存した遺跡のさらなる周知と活用	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
事業委託 の可能性	<input type="radio"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある			
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み			
(施策を取り巻く環境) 保存遺跡のさらなる啓発や活用事業の計画立案の作成が必要。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 定期的な草刈などの維持管理にとどまるが、今後も必要な事業である。			
(課題の解決についての提案など) 見学会などを実施する。				
自己評価 <span style="float: right;">3</span>				
今後の方向性	1 重点的に継続 <input type="radio"/>	2 現状のまま継続 <input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続 <input type="checkbox"/>	4 縮小を検討 <input type="checkbox"/>
	5 統合・連携を検討 <input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/>	7 終了・完了 <input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

--



# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	大江 聡
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
社会教育施設管理運営事業		<input type="checkbox"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び
	個別計画		(基本計画) 生涯学習、生涯スポーツの振興	
	社会教育施設の管理・充実			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町立若者センター条例、与謝野町立大江山運動公園松風庵条例 三河内山の家条項		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
社会教育施設の適切な運用と管理に務める		補助金の支給	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="radio"/>	/
		委託	全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/>	
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安全で適切な施設管理を図る	若者センター、大江山運動公園茶室、三河内山の家、いきいきふれあい広場の運営・管理	大きな事故等なく利用いただくことができた

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	5	社会教育費
目	7	教育文化施設管理費
事業	16	社会教育施設管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	1,272	623	717	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		1,272	623	717	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源		71	68	50	
	一般財源		1,201	555	667	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 社会教育施設の運営	三河内山の家の貸し出し	回	9	7	2
2 社会教育施設の運営	若者センターの貸し出し	回	38	30	60
3 社会教育施設の運営	大江山運動公園茶室の貸し出し	回	2	2	1
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
三河内山の家の利用人数	人	124	120	40	前年並みの利用を目標とし、実際の利用人数を実績として把握する。
若者センターの利用人数	人	435	400	574	
大江山運動公園茶室の利用人数	人	152	150	89	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題		
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	無人施設の為、災害時等に施設の現状把握が迅速に出来ない	
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="radio"/>	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
事業委託 の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>			
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある			
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要			

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 施設の老朽化	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 公共施設マネジメントの策定を踏まえ、今後の活用・廃止について計画的に取り組んでいきたい。							
(課題の解決についての提案など) 修繕ありきではなく、場合によっては施設の廃止等も検討していく必要がある。								
		自己評価		3				
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

※H25年度から社会教育施設管理運営事業に再編、建設課よりいきいきふれあい広場の管理事務が移管された

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉 正明	濱村 歩
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
スポーツ推進委員活動事業		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び	
	個別計画	スポーツ・レクリエーション活動の活性化支援		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
スポーツ基本法(平成23年法律第78号)19条、与謝野町スポーツ推進委員に関する規則(平成18年与謝野町教育委員会規則第41号)		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
				内部管理事務
事務事業の具体的内容			建設・整備事業	計画などの策定
住民に対し、スポーツの実技指導・スポーツ教室・イベントの企画立案、運営を行い、町のスポーツ振興および住民の健康増進に努めている。		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	一部委託
			委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
住民の要望によりスポーツ指導を行うとともに、主要事業であるスポーツイベントを定期的に行い住民の健康増進に努める。スポーツイベントの参加者の増加を目指す。	住民の要望により、スポーツ指導、スポーツイベントを開催した。平成27年度においては、スポーツイベントの一つである「スポーツフェスタ」の参加者が前年より70人近く増加した。	住民の要望により、スポーツ指導、スポーツイベントを開催した。平成27年度においては、住民からの強い要望によりウォーキングイベントを春だけではなく、秋にも開催し住民の健康増進に努めた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業	2	スポーツ推進委員活動事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			1,577	1,651	1,679	
総事業費の内訳	人件費	千円	1,443	1,521	1,500	
	物件費		75	73	107	
	扶助費					
	補助費		59	57	72	
	投資的経費					
財源内訳	その他					
	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
一般財源	1,577		1,651	1,679		

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績
1 スポーツ推進委員会	会議の開催	回	12	12	12
2 スポーツ推進委員主要事業	スポーツ大会・体験会等の開催運営	回	4	4	4
3 よさのふれあいニュースポーツ	ニュースポーツ教室の開催運営	回	22	22	22
4 スポーツ指導業務	町民へのスポーツ指導	回	4	5	11
5 各種団体への事業協力	各種団体が行うスポーツ事業への運営協力等	回	7	5	8

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
スポーツ推進委員主要事業	人	318	350	460	事業への参加人数及び委員を派遣してスポーツ指導を行なった人数。
よさのふれあいニュースポーツ	人	447	400	395	
スポーツ指導業務	人	156	300	424	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	・町民のスポーツ推進委員活動への認知度が低い。 ・学校を通してのスポーツ指導の依頼は多いが、住民からの指導の依頼は少ない。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託の可能性	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		1 改善の余地はない			<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	
		3 改善の余地が多い			<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 町民の方のスポーツ推進委員活動への認知度低い為、学校を通してのスポーツ指導の依頼は多いが住民からのスポーツ指導は少ない。スポーツ推進委員の活動内容を知っていただく必要がある。 (課題の解決についての提案など) スポーツ推進委員が主催するイベントの参加者増加を目指し、スポーツ推進委員活動を町民の方へ幅広く知っていただく。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 生涯スポーツの推進のために、大人から子どもまで幅広い層の住民に対して指導を行っていただいております。小学校等からのニュースポーツ指導の依頼は増加傾向であり、今後ともさらなるPR活動を行いながら継続していく必要がある。							
		自己評価		3				
今後の方向性	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討	<input type="checkbox"/>
	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>		

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉 正明	吉田雅広
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
社会体育団体育成事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び	
	個別計画	(基本計画) スポーツ指導者・団体の育成		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
				義務的事業
				内部管理事務
事務事業の具体的内容			建設・整備事業	計画などの策定
社会体育団体への支援又青少年へのスポーツ活動の場を提供し、スポーツを通じて心身を鍛錬する団体の育成を図る。		補助金の支給		有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>
		委託	<input type="radio"/> 全部委託	<input type="checkbox"/> 一部委託
		<input type="checkbox"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
生涯スポーツの振興及び青少年へのスポーツの場を提供し、スポーツを通じて心身を鍛錬し各種団体の育成を図ることを目的とする。	体育協会及びジュニアスポーツ連絡協議会に補助金を交付した。	補助金を交付する事により各種競技団体の自主運営が可能となり、さまざまな大会や教室の自主開催が可能となり、競技力の向上に寄与している。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業	4	社会体育団体育成事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			2,527	2,527	2,527	
総事業費の内訳	人件費	千円				
	物件費					
	扶助費					
	補助費		2,527	2,527	2,527	
	投資的経費					
財源内訳	その他					
	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
一般財源	2,527		2,527	2,527		

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	
1	Jr.スポーツ連絡協議会	理事会の開催	回	3	3	3
2	Jr.スポーツ登録団体	登録数	数	32	32	32
3	社会体育団体	登録数	数	16	16	16
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
Jr.スポーツ連絡協議会理事会の開催	回	3	3	3	理事会の開催 Jrスポーツ及び社会体育団体の登録の強化
Jr.スポーツ登録団体	数	32	32	32	
社会体育登録各種団体	数	109	110	97	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題		
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	各種社会体育団体において、高齢化が進み、役員等の後継者作りが課題だと思われる。又、少子化によりJrスポーツ団体も合同チームを作るなど、選手集めに苦慮されている。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="radio"/>	いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	生涯スポーツを推進していくためには、さらなる支援、協力が不可欠である。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
事業委託の可能性	既に全部委託済	<input type="radio"/>	更なる委託化が可能	<input type="radio"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="radio"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない
改善の可能性		1 改善の余地はない			<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある	
		3 改善の余地が多い			<input type="radio"/>	4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) Jr. スポーツにおいては、子どもの少子化により、クラブ員が不足し、チームの合併が増えている。また、社会体育団体においては、若者が少なく高齢化が進んでおり会員数が減少している。 (課題の解決についての提案など)  各団体へ支援、協力をし情報を共有しながら若者のクラブ員増加も目指す。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 社会人ボランティアの方々に青少年の健全育成にスポーツを通じて、指導等をいただいております。今後とも出来る限りの支援が必要と感じています。また社会人の高齢化が心配であるが、組織運営がスムーズに行えるよう継続した支援が必要である。							
		自己評価		3				
今後の方向性	<input type="radio"/>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="radio"/>	4 縮小を検討
	<input type="radio"/>	5 統合・連携を検討	<input type="radio"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="radio"/>	7 終了・完了	<input type="radio"/>	

9 その他特記事項

--



# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	吉田雅広
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
スポーツイベント開催事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画 掲載	与謝野町総合計画	(章) 5	—	(節) 2
		(基本計画)	生涯学習、生涯スポーツの振興	
	個別計画	スポーツ・レクリエーション活動の活性化支援		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
				義務的事業
				内部管理事務
事務事業の具体的内容			建設・整備事業	計画などの策定
町民のスポーツ振興のため、よさの大江山登山マラソン大会及び与謝野町駅伝競争大会各実行委員会への補助金及び丹後大学駅伝後援会への分担金		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	
		委託	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>	
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
町民の健康増進、体力向上及び与謝野町のアピールと住民相互の交流を図ることを目的とする。	登山マラソンにおいては、準備関係等のスタッフの負担軽減と効率化に努めた。	よさの大江山登山マラソン大会では、本年度においても1,100名を超える参加申込があり、参加者と住民との交流が図れた。駅伝大会においても、全小学校区から11チームの参加があり、子どもから大人まで世代を越えての交流が図れ有意義な大会となっている。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業	10	スポーツイベント開催事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度 決算	27年度 決算	28年度 計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	3,298	3,269	3,424	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		48	19	174	
	扶助費					
	補助費		3,250	3,250	3,250	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源		3,298	3,269	3,313	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	
1	登山マラソン事務局	実行委員会の開催	回	4	5	4
2	参加者の募集等	ダイレクトメール、インターネット	人	1,136	1,000	1,155
3	ボランティアの依頼	体育協会他各種団体	人	460	460	470
4	駅伝実行委員会への参画	実行委員会の開催	回	4	4	4
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
登山マラソン参加者	人	1136	1000	1155	
町駅伝全小学校区からの参加	チーム	10	11	11	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	登山マラソンにおいて、参加者増による受入体制、また悪天候等における迅速な対応が課題となっている。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="radio"/>	いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	参加者増により参加料金も増加しているが、その分、支出も増加さらには老朽化により看板等の更新も必要でありコスト削減にはしばらくかかる。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="radio"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託の可能性 可能性	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="radio"/>	委託化の余地あり	委託化は不可能	
	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない		
改善の可能性		1 改善の余地はない		<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
		3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み					
(施策を取り巻く環境) 参加者増に見合った受入施設や環境が整っていないのが現状である。又遠方からの参加者の交通網がネックである。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 本町においての一大イベントであり、観光や地域コミュニティの推進に大きな成果をもたらしており、マンネリ化にならないよう創意工夫しながら、継続していきたい。また、駅伝大会においても子どもから大人までが、一体となって交流が出来ており、有意義な大会となっているが地区役員等の負担軽減等も考慮出来るよう体育協会と調整し継続していきたい。					
(課題の解決についての提案など) 会場内外の施設も活用し、外部委託出来る部分については専門業者に委託することにより事務の効率化を図ることとする。	自己評価 3					
今後の方向性	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	4 縮小を検討
	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉 正明	濱村 歩
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
スポーツクラブ育成事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画		(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 生涯にわたって成長する喜び
	個別計画		(基本計画) 生涯学習、生涯スポーツの振興	
	スポーツ・レクリエーション活動の活性化支援			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="radio"/> ソフト事業		施設の維持管理
				義務的事業
				内部管理事務
事務事業の具体的内容			建設・整備事業	計画などの策定
スポーツクラブへの支援		補助金の支給	有 <input type="radio"/> 無 <input type="radio"/>	/
		委託 <input type="radio"/>	全部委託 <input type="radio"/> 一部委託 <input type="radio"/>	
		<input type="radio"/>	委託なし(直営)	

## 2 事務事業の目標・課題

当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
生涯スポーツの振興並びに普及、またこれに伴う町民の健康増進が目的とする。地域によってはクラブ員が減少傾向にある事が課題である。	多くのイベントを開催し町民の健康増進に努めた。会員の減少が課題となっていたこともあり、会費の区分するなど工夫を行った結果、若干名ではあるが会員増加へと繋がった。	両スポーツクラブ共、年間通して多くのイベントを開催し、スポーツ活動の振興を図り会員の健全な心身の育成に寄与すると共に会員相互の親睦を図った。

## 3 事務事業にかかる予算

会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	1	保健体育総務費
事業	11	スポーツクラブ育成事業

## 4 事務事業実施にかかる経費

事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			596	594	599	
総事業費の内訳	人件費	千円				
	物件費		26	24	29	
	扶助費					
	補助費		570	570	570	
	投資的経費					
財源内訳	その他					
	国・府支出金	千円				
	地方債					
	その他特定財源					
一般財源	596		594	599		

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	
1	スポーツクラブ会員	会員募集	人	264	280	270
2	事業実施	プログラム	数	19	20	19
3						
4						
5						

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度実績	27年度目標	27年度実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
スポーツクラブ会員数	人	264	280	270	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	スポーツ推進委員会が中心となり独立して運営をしているが、会員数が減少傾向になっている事が課題である。
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託の可能性	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能
	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		1 改善の余地はない		<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		3 改善の余地が多い		<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 今年度に関しては若干名増加したが、近年会員数が減少傾向にある事が課題とみられる。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) totoの助成期間が終了し財源確保のため会費等の値上げや少子化により会員の確保が課題であるが、スポーツ推進委員を中心に努力をしていただき、町としても生涯スポーツの推進を進めるためには継続的な財政支援が必要と考えている。							
(課題の解決についての提案など) 町民へスポーツクラブの活動やイベントを幅広く知ってもらい、子どもから大人、高齢者の会員増加へむけた取り組みが必要である。								
	自己評価		3					
今後の方向性	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討	<input type="checkbox"/>
	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>		

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長名	記入者
		社会教育課	坪倉正明	吉田雅広
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
屋外体育施設管理運営事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 5 —	(節) 2 — 6	
		(基本計画)	生涯学習、生涯スポーツの振興	
	個別計画	スポーツ施設の効果的な活用と管理		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		ソフト事業	<input type="radio"/>	施設の維持管理
		義務的事業		内部管理事務
事務事業の具体的内容		建設・整備事業		計画などの策定
市民が安心してスポーツに親しむことが出来る生涯スポーツ社会の実現を支援するため		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
		委託	全部委託	<input type="radio"/> 一部委託
			委託なし(直営)	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
市民が安心して事故等も無く施設を利用出来るよう管理運営を行う。 城山公園テニスコート改修工事計画	各種施設の保守管理委託等 城山公園テニスコート改修工事に係る助成金交付手続き等	各種施設の保守管理委託等の完了 野田川グランド公園東屋根修繕完了 城山テニスコート改修工事の完了及び日本スポーツ振興センターへ(toto)助成金確定報告

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	2	社会体育施設費管理費
事業	11	屋外体育施設管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	9,012	41,301	9,091	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		9,012	9,444	9,091	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費			31,857		
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	228	18,633		toto助成金、(府)交付金 合併特例債 使用料、財産収入
	地方債			12,900		
	その他特定財源		1,470	1,623	1,340	
	一般財源		7,314	8,145	7,751	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 自家用電気工作物保安業務委託	業者委託	回	16	16	16
2 浄化槽維持管理委託	業者委託	回	12	12	12
3 草刈作業業務委託	業者委託	回	3	3	3
4					
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
施設の利用者数	人	48,964	48,000	42,405	多くの町民が安心してスポーツに専念できる場所の提供
事故件数	件	0	0	0	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題	
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり	各施設の老朽化により、不具合が生じることが増えている。特に利用団体より改修要望の強かった城山公園テニスコートの全面改修がスポーツ振興くじ(toto)の助成金を活用し無事工事を終えることが出来た。
		他市町の実施方法を把握して	<input checked="" type="radio"/>	あり	<input type="radio"/> ない	
	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり		
連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
	他の事務事業と統合できる可能性は	<input checked="" type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり		
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり	計画的に施設の修繕維持管理に努める必要があり、有利な補助金等の活用を模索する必要がある。
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/> あり	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/> あり	
事業委託 の可能性 可能性	<input checked="" type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input checked="" type="radio"/> 委託化の余地あり	<input type="checkbox"/> 委託化は不可能
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない		2 改善の余地がややある	
		<input checked="" type="radio"/>	3 改善の余地が多い		4 抜本的な見直しが必要	

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 施設の老朽化により、毎年多額の修繕維持管理費が発生している。また、施設が点在しており維持管理にコストが掛かっている。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 社会体育施設としての中核施設であり、今後とも維持管理していく必要があるが、施設の老朽化が喫緊の課題であり、計画的に進めていきたい。また、老朽化が酷くプレーにも支障が出ていた城山公園テニスコートにおいて「スポーツ振興くじ助成金(toto)」を受け、全面改修することができ利用者からの改修要望に応えることが出来た。今後も有利な補助金等を模索していきたい。							
(課題の解決についての提案など) 計画的な施設の修繕、維持管理及び定期的な施設の点検。	自己評価 3							
今後の方向性	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input checked="" type="radio"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	吉田雅広
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
屋内体育施設管理運営事業		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 5 —	(節) 2 — 6	
	個別計画	(基本計画)	生涯学習、生涯スポーツの振興	
	スポーツ施設の効果的な活用と管理			
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="checkbox"/> 義務的事業	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
体育施設の管理運営		補助金の支給	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	/
		委託	<input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託	
		<input type="checkbox"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
町民が安心して事故等も無く施設を利用出来るよう管理運営を行う。	各種施設の保安管理委託等岩滝体育館建築物定期検査業務	各種施設の保安管理委託等の完了 岩滝体育館建築物定期検査業務の完了

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	2	社会体育施設費管理費
事業	12	屋内体育施設管理運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	8,180	8,112	8,427	
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		8,180	8,112	8,427	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円		84		(府)交付金
	地方債					使用料、財産収入
	その他特定財源		1,404	1,329	1,348	
	一般財源		6,776	6,699	7,284	



5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 自家用電気工作物保安業務委託	業者委託	回	12	12	12
2 消防施設点検委託	業者委託	回	3	3	3
3 浄化槽維持管理委託	業者委託	回	12	12	12
4 岩滝体育施設管理運営業務委託	体育協会	日	359	359	359
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
施設の利用者数	人	43,914	44,000	42,986	多くの市民が安心してスポーツに専念できる場所の提供
事故件数	件	0	0	0	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題				
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	大規模改修が完了した大江山体育館を除く、各施設の老朽化により、不具合等が発生する事案が増加している。			
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない				
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
	連携の可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
他の事務事業と統合できる可能性は		<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある					
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある					
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある				
事業委託の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	委託化は不可能			
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない				
改善の可能性			1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要	<input type="checkbox"/>

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み							
(施策を取り巻く環境) 町において公共施設白書を作成した。その結果を踏まえて、岩滝体育館の耐震改修計画や他の施設の在り方を検討して行く必要がある。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 社会体育施設としての中核施設であり、今後とも維持管理していく必要があるが、改修済の大江山体育館以外の施設の老朽化が喫緊の課題であり、特に、岩滝体育館の耐震診断の結果において大規模改修の必要が生じており、公共施設白書の結果を踏まえて計画して行く必要がある。							
(課題の解決についての提案など) 計画的な施設の修繕、維持管理及び定期的な施設の点検。	自己評価 3							
今後の方向性	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討	<input type="checkbox"/>
	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>		<input type="checkbox"/>

9 その他特記事項

--



# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長(所長)名	記入者
1 事務事業の概要		学校教育課	城崎敏一	増田靖彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
給食センター運営事業		新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画) 教育内容の充実		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町立学校給食センター条例		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="checkbox"/> 施設の維持管理	
与謝野町立学校給食センター条例施行規則		<input type="radio"/> 義務的事业	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
与謝野町立学校給食センター運営委員会部会設置要綱		<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
事務事業の具体的内容		補助金の支給	有	無 <input type="radio"/>
児童生徒の体力向上、食習慣の形成等健やかな発達へ向けた給食内容の充実を図る		委託	全部委託	一部委託
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
安心安全な学校給食の提供	調理前・後の衛生管理を徹底して行う。また食材搬入業者に対しても衛生管理を徹底させる	年度末(平成28年3月16日)弁当箱にネジが混入するという事故があったが、幸いにも大事には至らず、その他は大過なく給食の提供ができた。その後においては、全ての調理器具のチェックシートを作成し安全に努めている。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	3	学校給食費
事業	2	給食センター運営事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費			130,101	123,495	123,157	管理運営費
総事業費の内訳	人件費	千円		1,584	1,754	
	物件費		130,101	121,785	121,269	
	扶助費					
	補助費			126	134	
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円		113		負担金・給食費
	地方債					
	その他特定財源		104,768	97,427	103,609	
	一般財源		25,333	25,955	19,548	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 学校給食センター運営委員会	運営委員会の開催	回	1	1	1
2 同上 献立指導部会	献立指導部会の開催	回	5	5	5
3 同上 経理部会	経理部会の開催	回	0	1	0
4 給食費滞納整理	過年度分個別徴収	千円	117	262	17
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
除去食の個別容器	人	32	30	42	除去食対象: 鶏卵、魚卵、マヨネーズ 対象人数: 100人
食育指導	回	5	5	5	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題				
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない			
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある				
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある			
事業委託 の可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能	
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>		
改善の可能性		<input type="radio"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある	<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み																
(施策を取り巻く環境) 児童生徒の減少により、事業費について減少傾向であるが、また人数が減ったからと言って運営経費は下がらないと言った状況である。	(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 食数は減るものの、調理道具等が減るものではないため、今後の学校統廃合等も見据えて引き続き継続していく必要がある。こうした中で、民間運営についても検討していく必要がある。																
(課題の解決についての提案など) 岩滝小学校の将来的な取り込みも視野に入れた検討も必要である。	自己評価 4																
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>1 重点的に継続</td> <td><input type="radio"/></td> <td>2 現状のまま継続</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>3 内容を見直しながら継続</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>4 縮小を検討</td> <td><input type="checkbox"/></td> </tr> <tr> <td>5 統合・連携を検討</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>6 休止・廃止を検討</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>7 終了・完了</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>		
1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討	<input type="checkbox"/>										
5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>												

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

1 事務事業の概要		担当課	課長(所長)名	記入者
		学校教育課	城崎敏一	増田靖彦
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
給食センター施設整備事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	<input type="radio"/> 未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 明日の人材を育てる教育文化のまちづくり	(節) 地域と共に育てる楽しい学校	
	個別計画	(基本計画)	学校施設・設備の整備	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町立学校給食センター条例		<input type="checkbox"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
与謝野町立学校給食センター条例施行規則		<input type="checkbox"/> 義務的事业	<input type="checkbox"/> 内部管理事務	
与謝野町立学校給食センター運営委員会部会設置要綱		<input type="checkbox"/> 建設・整備事業	<input type="checkbox"/> 計画などの策定	
事務事業の具体的内容		補助金の支給		
センター施設管理維持並びに機械・備品等の更新の実施		有	無	
		委託	全部委託	一部委託
		<input type="radio"/> 委託なし(直営)		

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
センター施設管理維持並びに機械・備品等の更新の実施	調理機器の購入 米飯ライン修繕	取組により事故なく給食の提供ができた。

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	10	教育費
項	6	保健体育費
目	3	学校給食費
事業	3	給食センター施設整備事業

4 事務事業実施にかかる経費							
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)	
総事業費		千円	966	2,645	0		
総事業費の内訳	人件費						
	物件費		583	2,645			
	扶助費						
	補助費						
	投資的経費		383				
その他							
財源内訳	国・府支出金	千円	191	674		みらい戦略一括交付金	
	地方債						
	その他特定財源		162	408		施設整備負担金	
	一般財源		613	1,563			

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 自家用電気工作物保安業務	委託	回	6	6	6
2 ボイラー・空調設備保守点検	委託	回	5	5	5
3 受水槽清掃	委託	回	1	1	1
4 地下タンク漏洩検査	委託	回	1	1	1
5 排水枴汚泥処理	委託	回	6	6	6

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
設備更新・改修	千円	16,830	560	966	備品購入費・修繕料

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○			担当の把握している課題			
妥当性	手法の 妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他市町の実施方法を把握して	<input type="radio"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない		
		他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	連携の 可能性	他課で類似の事務事業は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		他の事務事業と統合できる可能性は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
情報公開	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input checked="" type="radio"/>	ある			
効率性	手段・ プロセス の効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="radio"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	-	ない	-	ある		
事業委託 の可能性 可能性		既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化の余地あり	<input type="radio"/>	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>	
改善の可能性		1 改善の余地はない			<input type="radio"/>	2 改善の余地がややある		
		3 改善の余地が多い			<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

(施策を取り巻く環境) 機械器具の日常の点検清掃や計画的な更新を行っているが、施設事態が老朽化しており改築も含めて検討が必要		(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 設備の使用・運転について現場作業の安全意識の向上に努める。日常の設備点検や整備を行い適正な管理に努める。計画的な設備の更新に努める。また、設備の更新に当っては設備を使用する調理員の意見を反映し安全性や効率に配慮したい。					
(課題の解決についての提案など) 日常の適正な設備管理 計画的な設備の更新		自己評価				4	
今後の方向性	1 重点的に継続	<input type="radio"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討
	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	

9 その他特記事項

--

# 事務事業評価シート(平成27年度)

		担当課	課長名	記入者
1 事務事業の概要		社会教育課	坪倉正明	井崎洋之
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
放課後児童健全育成事業		<input type="radio"/> 新規	年度	年度
		<input type="radio"/> 継続	<input type="radio"/> H22以前	未定
事務事業の体系				
計画掲載	与謝野町総合計画	(章) 安心と生きがいのある福祉のまちづくり	(節) 子育てするならこのまちで	
	個別計画	(基本計画)	(4) 児童の健全育成	
根拠法令・条例・要綱等		事業区分【該当する区分に○】		
与謝野町学童保育の実施及び学童保育所の設置に関する条例 与謝野町学童保育の実施及び学童保育所の設置に関する条例施行規則		<input type="radio"/> ソフト事業	<input type="radio"/> 施設の維持管理	
		<input type="radio"/> 義務的事業	<input type="radio"/> 内部管理事務	
事務事業の具体的内容		<input type="radio"/> 建設・整備事業	<input type="radio"/> 計画などの策定	
学童保育の申請受付、決定、不決定、料金徴収、事業運営委託事務		補助金の支給	有 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	
		委託 <input type="radio"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/>	委託なし(直営) <input type="checkbox"/>	

2 事務事業の目標・課題		
当該年度に設定した目標・課題	目標・課題に対する取組状況	取組に対する成果
円滑な事務の遂行 (機構改革に伴う事務移管事業のため)	27年度利用分の請求事務及び28年度当初申請受付・決定事務の実施	事務移管後も利用者に不利益となるような不手際はなかった

3 事務事業にかかる予算		
会計	予算コード	一般会計
款	3	民生費
項	2	児童福祉費
目	1	児童福祉総務費
事業	1	放課後児童健全育成事業

4 事務事業実施にかかる経費						
事務事業		単位	26年度決算	27年度決算	28年度計画	備考 (全体事業費など)
総事業費		千円	32,948	34,304	36,383	H28.1より所管替
総事業費の内訳	人件費					
	物件費		32,948	34,304	36,383	
	扶助費					
	補助費					
	投資的経費					
その他						
財源内訳	国・府支出金	千円	10,726	14,632	21,824	・子ども・子育て支援交付金(国・府同額) ・学童利用料等
	地方債					
	その他特定財源		5,499	5,850	6,090	
	一般財源		16,723	13,822	8,469	

5 事務事業の手段と活動指標

事務事業を構成する業務	手 法	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績
1 利用者募集	申請受付・決定	回			1
2 事業委託	社協、ジェイズ、そらまめ	者			3
3 事業所開設	町内7カ所(長期休暇中9カ所)	日			289
4 利用者数(1日平均)	町内各学童施設	人			130
5					

6 事務事業の実績

成果指標(意図の数値化)	単 位	26年度 実績	27年度 目標	27年度 実績	備 考 (成果指標の考え方・計算方法)
事業所開設	日			289	計算式として明確な成果は表しにくい が、1年間、大きな事故なく、円滑な運営ができたことが成果であるといえる
利用者数(1日平均)	人			130	

7 事務事業の事後評価

チェック項目		該当項目に○				担当の把握している課題	
妥当性	手法の妥当性	社会環境の変化による実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	・期限後の随時申請が多く広報の強化が必要 ・申請内容の精査、関係部署との連携を深め、社会的な見守りを必要とする者に対する公平かつ公正な利用者決定が必要 ・指導員確保への協力が必要
		他市町の実施方法を把握して	<input type="checkbox"/>	いる	<input type="checkbox"/>	いない	
	連携の可能性	他市町と比較して実施方法の見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		他課で類似の事務事業は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
情報公開	他事務事業と統合できる可能性は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
	住民への情報提供を促進する余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある		
効率性	手段・プロセスの効率性	事務事業を構成する業務に見直しの余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	<input type="checkbox"/>	ない	<input type="checkbox"/>	ある	
事業委託の可能性 可能性	<input type="checkbox"/>	既に全部委託済	<input type="checkbox"/>	更なる委託化が可能	<input type="checkbox"/>	委託化は不可能	
	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入について検討する余地がある	<input type="checkbox"/>	市場化テストの導入を検討する余地はない	<input type="checkbox"/>		
改善の可能性		<input type="checkbox"/>	1 改善の余地はない	<input type="checkbox"/>	2 改善の余地がややある		
		<input type="checkbox"/>	3 改善の余地が多い	<input type="checkbox"/>	4 抜本的な見直しが必要		

8 改善提案と今後の改善の方向性

職場からの意見	今後の具体的な取り組み																
<p>(施策を取り巻く環境)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・町の児童数が減少しても核家族化の進行、家庭環境の複雑化等により学童保育の需要及び重要性は増加するものと見込まれる。</li> <li>・平成29年度から岩滝学童が開設するため、施設のチェックや委託先の選定が必要</li> </ul> <p>(課題の解決についての提案など)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・明確な基準による審査、関係部署との連携により公平・公正な決定を推進する</li> <li>・余裕をもったスケジュールを作成し、課内で常に情報を共有しながら円滑な開設を目指す</li> <li>・教委で採用している臨職の活用など組織的な支援体制の確立</li> <li>・施設の状況を把握し、年次計画を立て、安心・安全な保育環境を確保する</li> </ul>	<p>(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか)</p> <p>保護者が仕事、病気などの理由により保育ができない状況を社会的にフォローするという学童保育の原則と、家庭教育の重要性とのバランスを大切にしながら、関係部署とも連携し、公平・公正な利用決定に努めていきたい。 また、現場の状況を把握し、共有できる定例会の開催や緊急時の対応、連絡体制の確立、施設の現状を的確に把握、集約し、年次的に改修していく計画の作成など、より安心・安全な保育環境の整備に努めていきたい。 なお、慢性的な人員不足には町として組織的な対応でカバーしていきたい。 中・長期的には、学校の統廃合も見据えた将来的な学童の利用数、設置場所、整備の必要性等を調査し、適切な対応に努めたい。</p>																
	自己評価 3																
今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>1 重点的に継続</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>2 現状のまま継続</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>3 内容を見直しながら継続</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>4 縮小を検討</td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/></td> <td>5 統合・連携を検討</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>6 休止・廃止を検討</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td>7 終了・完了</td> <td><input type="checkbox"/></td> <td></td> </tr> </table>	<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討	<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>	
<input type="checkbox"/>	1 重点的に継続	<input type="checkbox"/>	2 現状のまま継続	<input type="checkbox"/>	3 内容を見直しながら継続	<input type="checkbox"/>	4 縮小を検討										
<input type="checkbox"/>	5 統合・連携を検討	<input type="checkbox"/>	6 休止・廃止を検討	<input type="checkbox"/>	7 終了・完了	<input type="checkbox"/>											

9 その他特記事項

--